１回生必修教科「英語」授業のシラバス

教科名	外国語	科目名	英語	時間数	140 時間
科目の目標	〇初歩的な英語の指示を理解できるようにする。 〇初歩的な英語を用いて紹介などや簡単な質問に答えることができるようにする。 〇教科書の英語を読むことに慣れ親しみ、５W１H を意識し、英文を理解できるようにする。 〇単純な英語の語順や代名詞の違いを意識し、英語に慣れ親しみ、初歩的な英語を書くことができるようにする。				
教科書	SUNSHINE ENGLISH COURSE 1（開隆堂出版）	副教材			

１　学習の目標

⑴　積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけます。
⑵　小学校英語の学習を発展させ，言語の使用場面や言語の働きを更に広げた言語活動を行います。
⑶　海外の文化に興味を持つとともに、日本文化に誇りを持ちます。
⑷　相手の言っていることを理解するだけでなく、自分の意見や感想を簡単に言えるようになりましょう。

英語運用の４技能の目標

聞くこと	〇英語の簡単な指示を理解できる。 〇1 文でやりとりされる定型的な質問を理解できる。
話すこと	〇英語で簡単な挨拶の言葉を交わすことができる。 〇自分のことについて、簡単に英語で紹介することができる。
読むこと	〇簡単な書かれた数語程度の英語を理解できる。 〇周りにある簡単な英語の看板などなら理解できる。
書くこと	〇自分の考えを表す簡単な英語をいくつか書くことができる。 〇自分の住んでいる場所などの内容を含む、簡単な自己紹介を書くことができる。

２　学習の方法

⑴　予習について
- 〇　新しい program に入る前に、「英語のしくみ」をよく読んでおきましょう。
- 〇　新出単語の意味や発音を覚え、教科書 CD などを使いネイティブの音を聞き。本文を 25 回以上音読しましょう。
- 〇　本文を読んでどのようなことが書かれているか、考えましょう。

⑵　授業について
- 〇　授業では、新しい文法事項を使ったアクティビティを行います。積極的に参加しましょう。
- 〇　英語のアクティビティは、聞く、話す、書く、読む、全ての感覚を使って行います。

⑶　復習について
- 〇　授業の復習を行い、問題演習を行います。問題集の対応部分に毎日継続して取り組みましょう。

〈学習アドバイス〉
　英語は、実際に使わなければ身に付きません。読む、聞く、話す、書くのすべての感覚を積極的に使うことが大切です。授業中はもちろんですが、予習や復習でもただ眺めているだけではなく、聞く、発音する、書くことを繰り返すことで、英語を使いこなせるようになってきます。

３　評価について

⑴　評価の観点

観　点	趣　旨
①関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 主に、アクティビティへの参加・協力や、課題の取り組み、授業で扱われた題材への興味・関心で評価します。
②表現の能力	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。主に、英語を用いて話したり、書いたりする能力で評価します。
③理解の能力	外国語を聞いたり、読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が話していることを理解する。主に、英語を聞いたり読んだりして、中身を理解する能力で評価します。
④知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともにその背景にある文化などを理解している。主に、文法や英語の基礎知識が身についているか、授業で扱われた題材についての周辺知識を理解しているかで評価します。

⑵　評価の方法（以下観点①～④は「⑴　評価の観点」と対応する）

評価材料 / 観点	定期考査		休業明けテスト	ワークブック	word quiz	小テスト	group work	pair work	other activities
①関心・意欲・態度	〇	課題に関する定着、授業中のアクティビティに関する問題等	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
②表現の能力	〇	会話、英作文、語句整序、自由英作文　等	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
③理解の能力	〇	発音・アクセント、リスニング、読解問題（教科書の題材および応用問題）　等	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
④知識・理解	〇	文法語法問題、教科書題材の背景知識等に関する問題　等	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

〈担当者からのメッセージ〉
- ○　ネイティブの発音をまねして、カタカナ発音にならないよう気をつけましょう。正しい発音をすることは、相手に理解してもらうためにとても重要です。リスニングや筆記の問題演習を行って、自分の理解していないところを発見し、もう一度英語を聴いたり、説明を良く読んで理解する、というサイクルを大切にしましょう。
- ○　問題演習を行って、自分の理解していないところを発見し、再度確認し理解する、というサイクルを大切にしましょう。
- ○　問題演習は、自分の力で解くこと、しっかりと解答をすること、間違えたところを繰り返し解き直すことが大切です。
- ○　学校外でのいろいろな英語の教材になるものを使って、沢山英語に触れることが大切です。

4　授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考査等	反省等
4	Let's Start. Hello, everyone. Program 1　A,B,C･･･	・英語を聞いて,自分のことを表現する。 ・発音に気をつけて表現する。 ・アルファベットになれる。	①英語を聞いて自己紹介を積極的に表現しようとしている ②発音に気をつけて表現しようとしている。	プレスメントテスト	
	Classroom English	・教室で使う英語になれる。	③教室で使う英語を聞き理解できる。		
5	Program 2　Hi, I am Saki. Are you a Giants fan?	・互いに名前を言う。 ・あなたは～ですか？と質問する。	②英語で質問ができる。 ④数字をいろんな場面で使える。		
	W.W1 数の言い方	・数字を英語で表現する。			
6	Program 3　I like music. I like music too. Do you like sushi?	・ALT の自己紹介を聞く。	③自己紹介を聞いて理解できる。		
	Program 4　What, How many ～?	・何をするのか質問する。 ・複数形を学習する。 ・数をたずねる質問をする。	①何をするのか積極的に質問できる。 ③複数形の言い方を理解できる。	1 学期中間考査	
7 8	Program 5　This is my bag. Is this your bag? Where is my key? He is a teacher.	・これは～、あれは～を表現する。 ・どこにあるのか質問する表現を学習する。	①近くにあるもの、遠くにあるものを説明しようとしている。 ②自己紹介ができる。 ④文法事項を理解している。	夏季休業課題 （語彙・自由研究・暗唱・e-learning） 休業明けテスト	
9	Program 6 My sister plays it too. Does Kenji like English? She doesn't like pets.	・他の人のことを話す。	①他の人のことを話して、伝えようとしている。		
10	Program 7　Dilo the Dolphin. Who is that boy?　I like her. When do you visit ～?	・誰なのか？聞く。 ・人について「～を、に」のことを話す。 ・どのようにするか質問する表現を学習する。	①人の名前を聞こうとしている。 ②どのようにするか質問しようとしている。 ④文法事項を理解している。	1 学期期末考査	
11	Program 8 Origami He can read kanji too. How do you come to ～?	・助動詞 can を使う。 ・How をつかって疑問文を作る。	①助動詞 can を理解し使おうとしている。 ②How の疑問文を使おうとしている。		
12 1	Program 9 A New Year I'm cooking now. What are you doing?	・今、～しています。か？ ・今、何をしていますか？と質問する表現を学習する。	①今、～しています。か？を使おうとしている。 ②今、何をしていますか？使おうとしている。 ④文法事項を理解している。	2 学期中間考査 冬季休業課題 （語彙・e-learnig） 休業明けテスト	
2	Program 10　Mike's visit to Washington, D.C. I visited France last month. Did you study English last night? Why do you study English? Because I like English songs.	・過去にしたことを表現する。 ・過去にしたことを聞く。 ・理由を聞く。	①過去にしたことを表現している。 ②過去にしたことを聞こうとしている。 ③理由を聞いて理解できる。	2 学期期末考査	
3	Program 11 Flowers in the Classroom I had eggs and milk this morning. I went by bus yesterday.	・不規則動詞の過去形を学習する。	①不規則動詞の過去形を使おうとしている。 ④文法事項を理解している。		
	Extensive　Reading	・既習事項の復習	①既習事項を使おうとしている。	春季休業課題 （語彙・復習・e-learning）	

※　評価の観点①は関心・意欲・態度　②表現の能力　③理解の能力　④は知識・理解を表しています。
※　授業計画は進度により前後することがあります。

１回生　「英会話」授業のシラバス

教科名	外国語	科目名	英会話	時間数	35 時間
科目の目標	○初歩的な英語の指示を理解できるようにする。 ○初歩的な英語を用いて紹介などや簡単な質問に答えることができるようにする。 ○教科書の英語を読むことに慣れ親しみ、５Ｗ１Ｈを意識し、英文を理解できるようにする。 ○単純な英語の語順や代名詞の違いを意識し、英語に慣れ親しみ、初歩的な英語を書くことができるようにする。				
教科書	SUNSHINE ENGLISH COURSE 1（開隆堂出版）	副教材	First Choice (Oxford Univ pr)		

1　学習の目標

⑴　積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけます。
⑵　小学校英語の学習を発展させ，言語の使用場面や言語の働きを更に広げた言語活動を行います。
⑶　海外の文化に興味を持つとともに、日本文化に誇りを持ちます。
⑷　相手の言っていることを理解するだけでなく、自分の意見や感想を簡単に言えるようになりましょう。

英語運用の４技能の目標

聞くこと	○英語の簡単な指示を理解できる。 ○1 文でやりとりされる定型的な質問を理解できる。
話すこと	○英語で簡単な挨拶の言葉を交わすことができる。 ○自分のことについて、簡単に英語で紹介することができる。
読むこと	○簡単に書かれた英語を理解できる。 ○簡単な英語の指示を理解できる。
書くこと	○自分が話す簡単な英語をいくつか書くことができる。 ○簡単な自己紹介を書くことができる。

2　学習の方法

⑴　予習について
- ○　新しい lesson に入る前に、学習事項に目を通しておきましょう。
- ○　新出単語の意味や発音を覚え、教科書の本文を事前に音読しましょう。
- ○　本文を読んでどのようなことが書かれているか、考えましょう。

⑵　授業について
- ○　授業では、新しいアクティビティを行います。積極的に参加しましょう。
- ○　英語のアクティビティは、聞く、話す、書く、読む、全ての感覚を使って行います。

⑶　復習について
- ○　授業の復習を行い、リスニングなど毎日継続して取り組みましょう。

〈学習アドバイス〉
　英語は、実際に使わなければ身に付きません。読む、聞く、話す、書くのすべての感覚を積極的に使うことが大切です。授業中はもちろんですが、予習や復習でもただ眺めているだけではなく、聞く、発音する、書くことを繰り返すことで、英語を使いこなせるようになってきます。

3　評価について

⑴　評価の観点

観　点	趣　旨
①関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。主に、アクティビティへの参加・協力や、課題の取り組み、授業で扱われた題材への興味・関心で評価します。
②表現の能力	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。主に、英語を用いて話したり、書いたりする能力で評価します。
③理解の能力	外国語を聞いたり、読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が伝えようとすることを理解する。主に、英語を聞いたり読んだりして、中身を理解する能力で評価します。
④知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともにその背景にある文化などを理解している。主に、文法や英語の基礎知識が身についているか、授業で扱われた題材についての周辺知識を理解しているかで評価します。

⑵　評価の方法（以下観点①～④は「⑴　評価の観点」と対応する）

評価材料／観点	定期考査		休業明けテスト	ワークブック	word quiz	小テスト	group work	pair work	other activities
①関心・意欲・態度	○	課題に関する定着、授業中のアクティビティに関する問題等		○	○	○	○	○	○
②表現の能力	○	会話、自由英作文　等		○	○	○	○	○	○
③理解の能力	○	発音・アクセント、リスニング、読解問題　等		○	○	○	○	○	○
④知識・理解	○	教科書題材の背景知識等に関する問題　等		○	○	○	○	○	○

〈担当者からのメッセージ〉
- ○　ネイティブの発音をまねして、カタカナ発音にならないよう気をつけましょう。正しい発音をすることは、相手に理解してもらうためにとても重要です。リスニングや筆記の問題演習を行って、自分の理解していないところを発見し、もう一度英語を聴いたり、説明を良く読んで理解する、というサイクルを大切にしましょう。
- ○　英語を聞いて、自分の理解していないところを発見し、再度確認し理解する、というサイクルを大切にしましょう。
- ○　学校外でのいろいろな英語の教材になるものを使って、沢山英語に触れることが大切です。

４　授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考査等	反省等
4 5 6	Self—Introductions	・ALT の自己紹介を聞く。 ・英語を聞いて,自分のことを表現する。 ・発音に気をつけて表現する。	①英語を聞いて積極的自己紹介をしている ②発音に気をつけて表現している。	考査は行わず、普段の授業の中のアクティビティを評価します。	
7 8	Classroom English	・教室で使う英語を学習する。	①教室で使う英語を積極的に使おうとしている。 ③教室で使う英語を理解できる。		
9	Essential English	・情報の違いを英語で理解する。 ・英語の歌	④情報の違いを英語で理解しようとしている。 ①英語の歌を歌おうとしている。		
10	Student　Self-introduction	•ALT に英語で質問をする。	①積極的に相手に質問しようとしている。 ②相手に質問ができる。 ③質問の答えが理解できる。		
11	Shapes	・英語の指示で形を描く。	④指示に従って形を描こうとしている。		
12 1	Where is the carrot？	・どこに～がありますか？の表現を学習する。	②どこにあるか聞こうとしている。 ③質問の答えが理解できる。 ④ワークシートを完成させようとしている。		
2	Finding Nemo	・スキットのスクリプトを書く。	④スキットのスクリプトを書こうとしている。 ②英語でスクリプトが書ける。		
3	Performances	・英語でスキットをする。 ・既習事項の復習	①英語でスキットをしようとしている。 ②英語でスキットができる。 ③英語のスキットが理解できる。 ④既習事項を使おうとしている。		

※　評価の観点①は関心・意欲・態度、②表現の能力　③理解の能力④④知識・理解を表しています。
※　授業計画は進度により前後することがあります。

２回生必修教科「英語」授業のシラバス

教科名	外国語	科目名	英語	時間数	140 時間
科目の目標	○初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする ○初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。				
教科書	SUNSHINE ENGLISH COURSE 2（開隆堂出版）	副教材			

1　学習の目標

⑴　積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけます。
⑵　第１学年の学習を基礎として，言語の使用場面や言語の働きを更に広げた言語活動を行います。
⑶　海外の文化に興味を持つとともに、日本文化に誇りを持ちます。
⑷　相手の言っていることを理解するだけでなく、自分の意見や感想を簡単に言えるようになりましょう。

英語運用の４技能の目標

聞くこと	○いくつかの指示が組み合わされた英語や活動の手順について理解できる。 ○簡単な対話を聞いて内容を理解できる。
話すこと	○日常生活での出来事について、簡単な説明を英語ですることができる。 ○聞き手を意識して、感情を込めて英語で話すことができる。
読むこと	○５W１Hを意識しながら、教科書の本文などある程度まとまりのある英文について、内容を把握できる。 ○写真付きのファーストフード店のメニューならば理解できる。
書くこと	○過去の出来事や自分将来について、ある程度の分量の英文を書くことができる。 ○絵はがきやカードに簡単な英語のメッセージを書くことができる。

2　学習の方法

⑴　予習について
- ○　新しい Lesson に入る前に、「英語のしくみ」をよく読んでおきましょう。
- ○　新出単語の意味を調べ、本文を３度、音読しましょう。
- ○　本文を読んでどのようなことが書かれているか、考えましょう。

⑵　授業について
- ○　授業では、新しい文法事項を使ったアクティビティを行います。積極的に参加しましょう。
- ○　英語のアクティビティは、聞く、話す、書く、読む、全ての感覚を使って行います。

⑶　復習について
- ○　授業の復習を行い、問題演習を行います。問題集の対応部分に毎日継続して取り組みましょう。

〈学習アドバイス〉
　英語は、実際に使わなければ身に付きません。読む、聞く、話す、書くのすべての感覚を積極的に使うことが大切です。授業中はもちろんですが、予習や復習でもただ眺めているだけではなく、聞く、発音する、書くことを繰り返すことで、英語を使いこなせるようになってきます。

3　評価について

⑴　評価の観点

観　点	趣　旨
①関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 主に、アクティビティへの参加・協力や、課題の取り組み、授業で扱われた題材への興味・関心で評価します。
②表現の能力	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。主に、英語を用いて話したり、書いたりする能力で評価します。
③理解の能力	外国語を聞いたり、読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が伝え陽とすることを理解する。主に、英語を聞いたり読んだりして、中身を理解する能力で評価します。
④知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともにその背景にある文化などを理解している。主に、文法や英語の基礎知識が身についているか、授業で扱われた題材についての周辺知識を理解しているかで評価します。

⑵　評価の方法（以下観点①～④は「⑴　評価の観点」と対応する）

評価材料／観点	定期考査		休業明けテスト	ワークブック	word quiz	小テスト	group work	pair work	other activities
①関心・意欲・態度	○	課題に関する定着、授業中のアクティビティに関する問題、自由英作文等	○	○			○	○	○
②表現の能力	○	英作文、語句整序、自由英作文　等	○	○		○	○	○	○
③理解の能力	○	発音・アクセント、リスニング、読解問題（教科書の題材および応用問題）　等	○	○		○	○	○	○
④知識・理解	○	文法語法問題、教科書題材の背景知識等に関する問題　等	○	○	○	○	○	○	○

〈担当者からのメッセージ〉
- ○　問題演習を行って、自分の理解していないところを発見し、もう一度説明を良く読んで理解する、というサイクルを大切にしましょう。
- ○　問題演習は、自分の力で解くこと、しっかりと解答をすること、間違えたところを繰り返し解き直すことが大切です。
- ○　ネイティブの発音をまねして、カタカナ発音にならないよう気をつけましょう。正しい発音をすることは、正しい綴りを覚えることにもつながります。

４　授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考査等	反省等
4	Program 1 Did you enjoy your vacation?	自分の体験を説明する。 ものの様子を描写する。 行動を描写する。 一般動詞の過去形 （不規則変化） be 動詞の過去形 過去進行形	①過去の体験について自分の考えを積極的に話そうとしている。 ②春休みの出来事について表現できる。 ④文法事項を理解している。	休業明けテスト	
5	Program 2 A trip to Finland	予定についての情報を伝える。 考えや意図を伝える。 未来の表現 be going to 、未来の表現　will	①未来の予定について積極的に伝えようとしている。 ④文法事項を理解している。	１学期中間考査	
6	Program 3 Charity Walk	条件についての情報を伝える。 必要か不必要かの考えを伝える。 助動詞 must、have to、接続詞 that	①積極的に相手に説明しようとしている。 ④文法事項を理解している。		
7					
8	Program 4 The Pillow	まとまりのある文章を読んで、内容を理解する。	③英問英答などを通して、物語の展開を理解しながら読み進める。	夏季休業課題 （語彙・読解・e-learning ） 休業明けテスト	
9	Program 5 Gulliver's Travels	ものの存在を描写する。 物語の内容を説明する。 条件を説明する。 There is / are、複文 when~ / if~	①絵に描かれた事実を積極的に利き手に伝えようとしている。 ④文法事項を理解している。	１学期期末考査	
10	Program 6 A work Experience Program	夢についての考えを伝える。 行動の目的を説明する ものを描写する 不定詞　名詞的用法、副詞的用法、形容詞的用法	①自分の考えを話して、伝えようとしている。 ④文法事項を理解している。		
11	Program 7 If You Wish to See a Change	人の行動を説明する。 変化の様子を描写する。 人の行動を説明する。 動名詞、SVC、SVOO	①自分の気持ちを積極的に伝えようとしている。 ③物語の概要やあらすじを理解する。 ④文法事項を理解している。		
	Program 8 A Shelter for Pet animals	まとまりのある文章を読んで、内容を理解する。	①物語の概要やあらすじを理解する。	２学期中間考査	
12					
	Lesson 9 A Priest in a Mask	行動を描写する 人の様子を描写する 比較級、最上級、原級	④文法事項を理解している。		
1	Program 10 So Many Countries, So Many Customs.	行為について描写する 好みについて説明する。 形容詞、副詞の比較変化	①相手の意見を聞いて、積極的に応じようとしている。 ④文法事項を理解している。	冬季休業課題 （語彙・読解・e-learning） 休業明けテスト	
2	Program 11 Yui- To Share Is to Live.	ものの様子を描写する ものの用途を説明する 受け身の構造、動作主のある受け身	①事実を相手に積極的に伝えようとしている。 ④文法事項を理解している。		
3	Program 12 Her Dream came True	まとまりのある文章を読んで、内容を理解する。	①物語のあらすじを積極的に読み取る。 ②読んだことを元に、主人公の心情を適切に表現して書く。	２学期期末考査	

※　評価の観点①は関心・意欲・態度、②は表現の能力、③は理解の能力、④は知識・理解を表しています。
※　授業計画は進度により前後することがあります。

２回生　必修教科「英会話」授業のシラバス

教科名	外国語	科目名	英会話	時間数	35 時間
科目の目標	○初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする ○初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。 ○英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。 ○英語で書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。				
教科書	smart Choice (Oxford Univ pr)	副教材			

１　学習の目標

⑴　積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけます。
⑵　第１学年の学習を基礎として，言語の使用場面や言語の働きを更に広げた言語活動を行います。
⑶　海外の文化に興味を持つとともに、日本文化に誇りを持ちます。
⑷　相手の言っていることを理解するだけでなく、自分の意見や感想を簡単に言えるようになりましょう。

英語運用の４技能の目標

聞くこと	○いくつかの指示が組み合わされた英語や活動の手順について理解できる。 ○簡単な対話を聞いて内容を理解できる。
話すこと	○日常生活での出来事について、簡単な説明を英語ですることができる。 ○聞き手を意識して、感情を込めて英語で話すことができる。
読むこと	○５W１Hを意識しながら、教科書の本文などある程度まとまりのある英文について、内容を把握できる。 ○写真付きのファーストフード店のメニューならば理解できる。
書くこと	○過去の出来事や自分将来について、ある程度の分量の英文を書くことができる。 ○絵はがきやカードに簡単な英語のメッセージを書くことができる。

２　学習の方法

⑴　予習について
○教科書（Second Choice）の次の章を読みましょう。新出単語を、辞書を使って意味を調べましょう。
⑵　授業について
○常に英語を使うように努力しましょう。わからないことには「I don't know」と答えましょう。
⑶　復習について
○単語や語句を復習しましょう。宿題を必ず次の授業までに済ませましょう。

〈学習アドバイス〉
○とにかく英語を使おう、聞き取ろうとすることが大切です。
○わからないことには黙っていないで、必ずわからないことを伝えましょう。

３　評価について

⑴　評価の観点

観　点	趣　旨
①関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。主に、アクティビティへの参加・協力や、課題の取り組み、授業で扱われた題材への興味・関心で評価します。
②表現の能力	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。主に、英語を用いて話したり、書いたりする能力で評価します。
③理解の能力	外国語を聞いたり、読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が伝え陽とすることを理解する。主に、英語を聞いたり読んだりして、中身を理解する能力で評価します。
④知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともにその背景にある文化などを理解している。主に、文法や英語の基礎知識が身についているか、授業で扱われた題材についての周辺知識を理解しているかで評価します。

⑵　評価の方法（以下観点①～④は「⑴　評価の観点」と対応する）

評価材料／観点	指示を聞き取る	ペアワーク	スキット	インタビュー	その他		
①関心・意欲・態度		○	○	○			
②表現の能力		○	○	○			
③理解の能力	○	○		○			
④知識・理解							

〈担当者からのメッセージ〉
○正確な英語を使うことは大切なことですが、正確な英語は失敗をたくさん繰り返すことで身に付きます。失敗を恐れずにどんどん英語を使いましょう。
○スキットでは英語を棒読みするのではなく、感情を表現することが大切です。観客を意識して、聞き取りやすい英語を使うよう心がけましょう。

４　授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考査等	反省等
４	春休みについてのインタビュー	春休みの体験について質問をする。 Class room English の復習	①英語を用いて worksheet を埋めようとしている。 ②春休みに関するインタビュー	考査は行わず、普段の授業の中のアクティビティを評価します。	
	自分の将来のプラン	マッピングを用いたブレインストーミング 自分の将来のプランについてのスピーチを行う。	①マッピングを完成させる。 ②将来のプランに関するスピーチを書ける。 ③スピーチの内容を聞き、理解できる。		
５					
	tiring と tired	能動、受動の基本的な考え方を理解する。	④文法に関する質問に答えることができる。		
	語の定義	簡単な単語の定義を学ぶ。	③簡単な語の定義を理解し、正しい答えを選ぶことができる。		
６	ジェスチャーゲーム V,B,F の発音	発音の違いを学ぶ。	②違いをはっきりとさせて発音することができる。		
	クラスインタビュー	インタビュー	①積極的にインタビューをし、応えようとする。 ③聞かれた内容を理解している。		
７					
８	イングリッシュキャンプ準備	グループ決定 台本決め 台本の大筋を決める。 セット、登場人物、筋を決める。 台本作成 背景、衣装デザイン、作成 スキット練習	①積極的に準備に参加している。 ②感情と振りをつけて演じている。 ②台本を英語で書くことができる。		
９					
	スカベンジャーハント	スカベンジャーハント	③指示を理解している。		
１０	インタビュー	１対１のインタビュー	②一問一答にならないように、発展的な質問ができる。		
１１	ハロウィーンパーティー 「赤いリボン」	物語を読み、簡単な質問に答える。	③物語を読み、質問に答えることができる。		
	イングリッシュキャンプのお礼の手紙	イングリッシュキャンプのリーダーへのお礼の手紙	②英語でお礼の手紙を書ける。		
１２	リスニングピラミッド	発音の違いを聞き取る。	③発音の違いを聞き取ることができる。		
	クリスマスパーティー	２０クェスチョン	②答えを導き出すための質問をすることができる。 ②スキットを演じることができる。		
１	地理比較	Rudolph スキット	②地理的特徴について英語で話ができる。		
２	ディズニーキャラクター比較	英語で、地理に関する比較を行う。	②キャラクターの特徴について英語で話ができる。		
	天気予報	英語で、ディズニーのキャラクターの比較を行う。	②天気予報の show&tell を行うことができる。		
３	探偵ゲーム	ピクチャーカードを用いて天気予報をする。 時制を用いたアクティビティを行う。	③内容を理解し、クイズを解くことができる。		

※　評価の観点①は関心・意欲・態度、②は表現の能力、③は理解の能力、④は文法や語彙の知識・理解を表しています。
※　授業計画は進度により前後することがあります。

３回生必修教科「英語」授業のシラバス

教科名	外国語	科目名	英語	時間数	140 時間
科目の目標	外国語を通じて、言語の文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。				
教科書	SUNSHINE ENGLISH COURSE ３（開隆堂出版） Power On Communication English Ⅰ （東京書籍）	副教材	実力練成テキスト　英語３年（文理） キクタン Basic4000（アルク） 総合英語　フォレスト 6th edition（桐原書店） 英語のパートナー３（正進社）		

1　学習の目標

(1)　基礎期で学習したことを基本に、様々な活動を通して、新出単語、文法、音声、表現を学び、生きた英語を習得する。

(2)　コミュニケーションを積極的に図ろうとする態度を養う。

英語運用の４技能の目標

聞くこと	○英語で行われる短いやり取りを聞いて内容を理解できる。 ○ネイティブスピーカーがスピードやポーズなどにかなり配慮して話せば、おおよその内容を理解できる。
話すこと	○ALT やその他のネイティブの語学指導者と自分のことなど、なじみある話題について、英語で短いやり取りができる。 ○基本的な表現を用いて、授業で与えられた場面に応じたやりとりを英語で行うことができる。
読むこと	○単純な英語で書かれた文章の内容を、大まかに理解できる。 ○優しい英語で書かれた物語文のあらすじを理解することができる。
書くこと	○物事を説明する文章を英語で書くことができる。 ○他人に向けた簡単な内容の文章を英語で書くことができる。

2　学習の方法

(1)　予習について

○　教科書に出てくる単語は、しっかりと事前に調べておいてください。また、教科書の本文をしっかり音読しておきましょう。

(2)　授業について

○　クラス編成は、標準クラス×２と基礎クラス×１の計３クラスで展開します。どのクラスにおいても、学習した文法を使ったアクティビティや、コミュニケーション活動を大切にします。積極的に参加しましょう。

(3)　復習について

○　授業で学んだ重要なポイントや本文の内容は、しっかりと復習してください。復習してまだ理解ができなかった部分は、そのままにしておかずに、質問などをしてしっかりと理解しましょう。また、授業で学習した文章を声に出して音読しましょう。

〈学習アドバイス〉
英語の力をつけるためには、毎日の積み重ねがとても大切です。積み重ねた力は、必ず次のステップへとつながります。授業で学んだことをしっかりと理解し、教科書やワーク、参考書などをバランスよく使って、知識の定着を図りましょう。

3　評価について

(1)　評価の観点

観　点	趣　旨
①関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 主に、アクティビティへの参加・協力や、課題の取り組み、授業で扱われた題材への興味・関心で評価します。
②表現の能力	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。主に、英語を用いて話したり、書いたりする能力で評価します。
③理解の能力	外国語を聞いたり、読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が伝え陽とすることを理解する。主に、英語を聞いたり読んだりして、中身を理解する能力で評価します。
④知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともにその背景にある文化などを理解している。主に、文法や英語の基礎知識が身についているか、授業で扱われた題材についての周辺知識を理解しているかで評価します。

(2)　評価の方法（以下観点①～④は「(1)　評価の観点」と対応する）

評価材料 観点	定期考査		休業明け テスト	ワーク ブック	小テスト	group work	pair work	other activities
①関心・意欲・態度	○	課題に関する定着、授業中のアクティビティに関する問題、自由英作文等	○	○	○	○	○	○
②表現の能力	○	英作文、語句整序、自由英作文　等	○	○	○	○	○	○
③理解の能力	○	発音・アクセント、リスニング、読解問題（教科書の題材および応用問題）　等	○	○	○	○	○	○
④知識・理解	○	文法語法問題、教科書題材の背景知識等に関する問題　等	○	○	○			○

〈担当者からのメッセージ〉
３回生の授業内容は、中学３年間の内容の総まとめであり、これからの英語の力の基礎になります。２回生まで学んできた学習内容を、３回生ではさらにしっかり定着を図り、後期課程に向けてステップアップを目指しましょう。

４　授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考査等	反省等
4	Program1 How Does Your School Chime Sound? Speaking1　旅行（機内で）	Big Ben の鐘と日本の学校のチャイムの関係を学習する。	①課題に対し積極的に取り組んでいる ②積極的にスキットの役割を演じることができる ③Big Ben の鐘と日本の学校のチャイムの関係を理解できる。 ④受動態（過去）、現在完了（完了／肯定・疑問・否定）を用いた文を理解できる		
5	Program2 Volcanoes in Japan Speaking2　食事（レストランで）	日本の火山について学ぶ	①課題に対し積極的に取り組んでいる ②自分の訪ねたことがある場所について紹介できる。 ③日本の火山について理解できる。 ④現在完了（継続・経験）を用いた文を理解できる	１学期中間考査	
6 7	Program3 The 5 Rs to Save the Earth Challenge1　英語で料理 Speaking３ 道案内②（電車の乗り換え） Listening1 音楽家へのインタビュー My Project7 有名人にインタビューしよう	環境を守るためにできることを考える	①課題に対し積極的に取り組んでいる ③身の回りの環境問題について理解できる。 ④It is ...(for+人) to ~/know how to ~/ ask ... to を用いた表現を理解できる	夏季休業課題 （語彙・読解・ワークブック） 休業明けテスト	
8	Program4 Faithful Elephants Writing1 ウェブストアへのメール	戦争中の上野動物園のゾウの物語を読んで、内容を理解する	①課題に対し積極的に取り組んでいる ③禅師中の上の動物園のゾウの物語の内容を理解できる。	１学期期末考査	
9 10	Program5 Sushi-Go-Around in the World Speaking4 電話②（伝言を受ける）	回転ずしの歴史と日本食の広がりを学習する	①課題に対し積極的に取り組んでいる ③回転ずしの歴史と日本食の広がりの内容を理解できる。 ④主語+動詞+目的語+補語（call A + B）[A をB と呼ぶ]/(make A + B)[A をB にする]を用いた表現を理解する		
	Program6 Let's Talk about Things Japanese Challenge２　英語で茶道 My Project8 伝統文化を説明しよう	日本の伝統について考え、それを報告する	①課題に対し積極的に取り組んでいる ②日本の文化を英語で紹介できる。 ③日本の伝統文化について理解できる ④現在分詞の後置修飾／過去分詞の後置修飾を用いた文を理解できる	２学期中間考査	
11	Program7 What Is the Most Important Thing for you? Speaking5　買い物④（靴を買う）	国際協力師、山本敏晴さんのボランティア報告からボランティアの内容を知る	①課題に対し積極的に取り組んでいる ②有名人を英語で紹介できる。 ③山本敏晴さんのボランティア報告の内容を理解できる。 ④関係代名詞（主格）who/which/that を用いた文を理解できる	冬季休業課題 （語彙・読解・ワークブック） 休業明けテスト	
12	Program8 Clean Energy Sources Writing2 ホームページで学校紹介 Listening2 アナウンス（駅、空港など）	風力、太陽エネルギーの話を読み取る	①課題に対し積極的に取り組んでいる ③自然エネルギーについての発表を読み、理解できる。 ④関係代名詞（目的格）which/that が使われた文、また省略された文が理解できる		
1	Program9 Mother Teresa	マザーテレサの生き方を学	③マザーテレサの生涯を読み、理解できる。	２学期期末考査	
2	<Power on> Lesson1 Greeting around the World		①課題に対し積極的に取り組んでいる ④動名詞／S+V+O[=that 節]／不定詞を用いた文を理解できる		
3	Lesson2 Is Our Food Culture Strange?		①課題に対し積極的に取り組んでいる ④受け身／S+V[=be 動詞以外]+C／助動詞を用いた文を理解できる。		

※　評価の観点①は関心・意欲・態度、②は表現の能力、③は理解の能力、④は知識・理解を表しています。
※　授業計画は進度により前後することがあります。

３回生　必修科目「英会話」授業のシラバス

教科名	外国語（英会話）	科目名		時間数	３５時間
教科の目標	外国語を通じて，言語や文化に対する理解を深め，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り，聞くこと，話すこと，読むこと，書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。				
教科書	Smart Choice 2	副教材			

１　学習の目標

(1)　基礎期で学習したことを基本に様々な活動を通して、新たな単語、文法、音声、表現を学び、生きた英語の習得する。

(2)　コミュニケーションを積極的に図ろうとする態度を養う。

英語運用の４技能の目標

聞くこと	○教科書のリスニング活動で聞く英語を、短いやりとりであれば内容を理解できる。 ○ネイティブスピーカーがスピードやポーズなどにかなり配慮して話せば、おおよその内容を理解できる。
話すこと	○ALT やその他のネイティブの語学指導者と自分のことなど、馴染みのある話題について、英語で短いやりとりができる。 ○基本的な表現を用いて、授業で与えられた場面に応じたやりとりを英語で行うことができる。
読むこと	○短く単純な構文で書かれた教科書の本文を、日本語に訳さなくても、内容を理解できる。 ○外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語の大まかな流れを理解できる。
書くこと	○授業で与えられたテーマについて、5～6 文程度の英語で書くことができる。 ○英語の手紙や E-MAIL などを、簡単な内容であれば、書くことができる。

２　学習の方法

（1）授業について

授業では様々な表現を学びながら、表現を用いてのスキット、発表が主な内容です。

2）復習について

学んだ単語、表現を必ず復習しておいてください。次の授業までにには必ず宿題を終わらせるようにしてください。

3）予習について

教科書の次の部分を事前に読んでおいてください。事前にわからない単語を調べておいてください。

〈学習アドバイス〉

授業では、先生の質問に英語で答えてください。わからなかったときはわからないと伝えてください。また、どんな時も英語で話すことを心がけてください。

３　評価について

(1)　評価の観点

観　点	趣　旨
①関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 主に、アクティビティへの参加・協力や、課題の取り組み、授業で扱われた題材への興味・関心で評価します。
②表現の能力	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。主に、英語を用いて話したり、書いたりする能力で評価します。
③理解の能力	外国語を聞いたり、読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が伝えようとすることを理解する。 主に、英語を聞いたり読んだりして、中身を理解する能力で評価します。
④知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともにその背景にある文化などを理解している。主に、文法や英語の基礎知識が身についているか、授業で扱われた題材についての周辺知識を理解しているかで評価します。

(2)　評価の方法（以下観点①～④は「(1)　評価の観点」と対応する）

評価材料／観点	定期考査　休業明けテスト		教科書	個人	group work	pair work	小テスト		
①関心・意欲・態度	○	課題に関する定着、授業中のアクティビティに関する問題、自由英作文　等	○	○	○	○	○		
②表現の能力	○	発話、英作文、自由英作文　等	○	○	○	○	○		
③理解の能力	○	発音・アクセント、リスニング、等	○	○			○		
④知識・理解	○	文法語法問題、教科書題材の背景知識等に関する問題　等	○	○			○		

〈担当者からのメッセージ〉

○　この一年は充実期の最初の年であり、英語においても後期課程への架け橋となる重要な一年です。英会話の時間で覚えた表現を用いて、考え、意見を発表したり、ALT の先生や友達の英語を聞くことによってリスニングの力を伸ばしていきましょう。

４　授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考査等	反省等
4	クラスルームイングリッシュ ヴァケーションアクティヴィティ	春休みについての発表	②どんな春休みだったか英語で話すことができる。		
	自己紹介プロジェクト	自己紹介について英文を作って練習→クラスに発表	①、③自己紹介の例文を聞いて理解することができる。		
5	SC2 U6　You should try it.	アドバイスの与え方、ルールを知らせる時の表現	①、②課題解決のためにお互いにアドバイスを与えることができる。		
	自己紹介プロジェクト パズルクロスファイアー		①、②自己紹介をクラスに伝えることができる。		
6	復習）比較級の表現	比較表現を用いてのタブーゲームや２０クエスチョン	②比較表現を用いて質問をすることができる。		
7	会話表現	２回生の時の復習、授業での新しい表現を使う。スキット	①、④新しい表現を使ってスキットをつくることができる。		
	会話表現を使ってのスキット	会話表現を使ってのスキット発表。	①、②覚えた表現を使ってスキットを発表することができる。		
	パズルクロスファイアー				
	SC2 U7 There are too many stories!	・不加算、加算名詞 Too much の使い方 ・買い物で使う時の表現、アクティヴィティ	④不可算、加算名詞に応じて many / much などを使うことができる。 ④店名や商品の名前など買い物をするときの表現を使うことができる。		
8	スポーツ、オリンピック	・オリンピックに関する英語、世界のスポーツについて ・新しいスポーツについて考え、英語で紹介	①、②世界のスポーツについて学んだり、新しいスポーツを考えクラスに伝えることができる。		
9	ショウアンドテル	趣味についてのショウアンドテル	①、②トピックに沿って自分の趣味について英語で話すことができる。		
10	SC2 U8 I like guys who are creative.	人を説明する時の表現	④人の外見や性格などを表す表現を使うことができる。		
	ハロウィーンパーティ		①、②ハロウィーンについての映画を見て質問に答えることができる。		
11	SC2 U9 What were you doing?	過去進行形を使っての会話表現　スキット	①、②過去進行形を使ってスキットで表現することができる。		
	SC2 U10 It might be an elephant.	助動詞 might などを使っての表現　動物についての英語	①、③助動詞 might を含んだ英語を聞いて情報を得ることができる。		
12	クリスマスパーティー		クリスマスソングを歌うことができる。		
1	冬休みについて	冬休みについてのディスカッション	②どんな冬休みだったか英語で話すことができる。		
2	SC2 U12 Living in a pyramid	仮定法についての表現 プレゼンテーション	①、④would などを使って仮定の状況を伝えることができる。		
	ピンポンディベート	簡単なディベートの方法	①、②簡単な表現を使って相手の意見を聞いたり、意見を言うことができる。		
3	シーンライティング	スキット	①、②スキットで表現することができる。		
	SC2 U11 I used to sing	used to を使った表現	①、②過去の自分の行動について言うことができる。		

※　評価の観点①は関心・意欲・態度、④は知識・理解を表しています。

※　授業計画は進度により前後することがあります。

※　評価の観点について、②表現の能力と③理解の能力については、ペアワークやグループワーク、スピーチなどの授業中の適切なアクティビティに応じて通年で評価します。

４回生　必修科目「コミュニケーション英語Ⅰ」授業のシラバス

教科名	外国語	科目名	コミュニケーション英語Ⅰ	単位数	３単位
科目の目標	英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに，事実や意見などを多様な観点から考察し，論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。				
教科書	Power On Communication English Ⅰ （東京書籍） POLESTAR English CourseⅡ（数研出版）	副教材	総合英語　Forest 6th edition（桐原書店） Power On communication English I 準拠学習用 CD（東京書籍） Next Stage 英文法・語法問題 New Edition（桐原書店） FOREST Intensive English Grammar in 27 Lessons 6th edition（桐原書店）		

１　学習の目標

⑴　習熟度に応じた英語運用のアクティビティを通し、英語を実際に使える訓練をする。
⑵　コミュニケーションツールとしての英語を駆使して、コミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

英語運用の４技能の目標

聞くこと	○日常的な会話などの英語の短い話ややりとりを聞いて、話し手の意図や内容の状況を理解できる。 ○ネイティブスピーカーがスピードやポーズにある程度配慮して話せば、おおよその内容を理解できる。
話すこと	○自分に馴染みのある話題について、ある程度英語で説明することができる。 ○授業で与えられたトピックについて、英語でプレゼンテーションすることができる。
読むこと	○教科書の本文の、１つの段落内の要点や内容のつながりを理解できる。 ○英語で書かれた内容について、自分の体験と対比しながら読むことができる。
書くこと	○自分の興味ある話題やものに対して、意見や感想を発信することができる。 ○授業で与えられたトピックについて、自分の意見をまとめて書くことができる。

２　学習の方法

⑴　授業について

授業は Basic, Standard, Advanced の３つの習熟度授業で行っていきます。定期考査ごとにクラス替をします。授業での取組はもちろんのこと、与えられた課題にも積極的に行ってください。

⑵　予習と復習について

授業の前に指示された内容についての単語を調べることや、本文の内容の確認などを行ってください。また、授業での小テスト（本文の暗記、フォレスト例文暗唱等）には事前の学習を十分にして受けることが学力のアップにつながります。復習については、その日の学習内容に目を通したり、学んだ単語、表現などを必ず家で覚えるようにしてください。

〈学習アドバイス〉
基本となる単語や英文を参考書等を使ってしっかり覚え、話したり、聞いたり、読んだり、書いたりすることで覚えたものがさらに定着していきます。覚えた表現を使って積極的に英語に触れることが英語上達の一歩です。

３　評価について

⑴　評価の観点

観　点	趣　旨
①関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 主に、アクティビティへの参加・協力や、課題の取り組み、授業で扱われた題材への興味・関心で評価します。
②表現の能力	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。主に、英語を用いて話したり、書いたりする能力で評価します。
③理解の能力	外国語を聞いたり、読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が伝え陽とすることを理解する。主に、英語を聞いたり読んだりして、中身を理解する能力で評価します。
④知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともにその背景にある文化などを理解している。主に、文法や英語の基礎知識が身についているか、授業で扱われた題材についての周辺知識を理解しているかで評価します。

⑵　評価の方法（以下観点①～④は「⑴　評価の観点」と対応する）

評価材料／観点	定期考査		Communication Workshop	Expression Workshop	group work	pair work	ワーク等の取組	Essay Writing
①関心・意欲・態度	○	授業中のアクティビティに関する問題、自由英作文等	○		○	○	○	○
②表現の能力	○	英作文、語句整序、自由英作文　等	○		○	○		○
③理解の能力	○	発音・アクセント、リスニング等	○		○	○		
④知識・理解	○	文法語法問題、教科書題材の背景知識等に関する問題　等	○	○			○	○

〈担当者からのメッセージ〉
○　定期考査だけでなく、普段の学習活動の中で行われるアクティビティにおいても、評価を行っていきます。
○　わからないことなどが出てきたら、辞書を使う、フォレスト参考書を読むなどの癖をつけましょう。その際には、マーカーを使ったり、付箋紙を使ったり、自分が勉強しやすいような工夫をしていきましょう。
○　授業をとにかく大切に。先生方は大変な課題だとしても必要だから提示しています。提示されたものは必ず行いましょう。
○　英語は日々の積み重ねが大きな差を生む教科です。一夜漬けは絶対に通用しません。毎日コツコツ頑張りましょう。

４　授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考査等	反省等
4	＜Power On Communication English Ⅰ＞ 文法のまとめ	・文構造、動名詞、不定詞、助動詞、受け身 ・お薦めの料理を英語で紹介する	④該当の課で学んだ文法事項について理解している。 ①、②既習の言語事項を使って英語で説明している。		
5	Lesson3 Miyazato Ai – Her Challenge for Her Dream	・プロゴルファー宮里藍選手 ・進行形、名詞 S+V、疑問詞+不定詞	③英語で書かれた内容について理解することができる。 ④教科書に提示された文法を理解することができる。		
6	Lesson 4 Sleep in Animals コラム１	・動物の睡眠 ・比較、疑問詞+不定詞、分詞	③英語で書かれた内容について理解することができる。 ④教科書に提示された文法を理解することができる。	１学期中間考査	
	Communication Activity 1 文法のまとめ２	・日本文化を紹介しよう。① ・L３、４の文法のまとめ	①、②既習の言語事項を使ってスピーチができる。 ④該当の課で学んだ文法事項について理解している。		
7 8	Lesson 5 Kawaii and Japanese Pop Culture	・世界に広まる日本のポップカルチャー ・関係代名詞、現在完了形	③英語で書かれた内容について理解することができる。 ④教科書に提示された文法を理解することができる。		
	Lesson 6 Ogasawara – A laboratory of Evolution	・小笠原諸島の多様な生態系 ・間接疑問文、助動詞＋受け身、It is ～to・・・.	③英語で書かれた内容について理解することができる。 ④教科書に提示された文法を理解することができる。		
9	Fun With Words 1 文法のまとめ３	・L５、６の文法のまとめ	④該当の課で学んだ文法事項について理解している。	１学期期末考査	
10	Lesson 7 Furoshiki– The Magic Cloth	・日本の伝統文化、ふろしき ・現在完了進行形、間接疑問文、関係副詞 when	③英語で書かれた内容について理解することができる。 ④教科書に提示された文法を理解することができる。		
11	Lesson 8 The Emerald Isle コラム２	・エメラルドの島、アイルランド ・that 節、It is 名詞 that、関係副詞 where	③英語で書かれた内容について理解することができる。 ④教科書に提示された文法を理解することができる。	２学期中間考査	
	Communication Activity 2 文法のまとめ４	・日本文化を紹介しよう。② ・L７、８の文法のまとめ	①、②既習の言語事項を使ってスピーチができる。 ④該当の課で学んだ文法事項について理解している。		
12	Lesson 9 The Power to Unite People	・ネルソン・マンデラ氏と南アフリカ ・過去完了形、未来進行形、分詞構文	③英語で書かれた内容について理解することができる。 ①、②既習の言語事項を使って英語で説明している。		
1	Lesson 10 Knut, the Polar Bear	・人間に育てられたホッキョクグマのクヌートと地球温暖化 ・wish+仮定法過去、知覚動詞、that 節	④教科書に提示された文法を理解することができる。		
2	コラム３ Communication Activity 3 Fun with words 2 一年のまとめ	・エッセイを書いてみよう。 問題演習	①、②既習の言語事項を使って与えられたテーマについてエッセイを書くことができる。	２学期期末考査	
3	＜POLESTAR English CourseⅡ＞ Lesson 1 Travel Manners	・旅行先でのマナーについて 不定詞の受動態、might, would, could、前置詞+関係代名詞	③英語で書かれた内容について理解することができる。 ①、②既習の言語事項を使って英語で説明している。		

※　評価の観点①は関心・意欲・態度、②は表現の能力、③は理解の能力、④は知識・理解を表しています。
※　授業計画は進度により前後することがあります。

４回生　必修科目「英語表現Ⅰ」授業のシラバス

教科名	外国語	科目名	英語表現Ⅰ	単位数	２単位
科目の目標	英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに，事実や意見などを多様な観点から考察し，論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。				
教科書	NEW FAVORITE English Expression I（東京書籍）	副教材	NEW FAVORITE English Grammar I（東京書籍） 総合英語　Forest 6th edition（桐原書店）		

1　学習の目標

(1)　習熟度に応じた英語運用のアクティビティを通し、英語を実際に使える訓練をする。
(2)　コミュニケーションツールとしての英語を駆使して、コミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

英語運用の４技能の目標

聞くこと	○日常的な会話などの英語の短い話ややりとりを聞いて、話し手の意図や内容の状況を理解できる。 ○ネイティブスピーカーがスピードやポーズにある程度配慮して話せば、おおよその内容を理解できる。
話すこと	○自分に馴染みのある話題について、ある程度英語で説明することができる。 ○授業で与えられたトピックについて、英語でプレゼンテーションすることができる。
読むこと	○教科書の本文の、１つの段落内の要点や内容のつながりを理解できる。 ○英語で書かれた内容について、自分の体験と対比しながら読むことができる。
書くこと	○自分の興味ある話題やものに対して、意見や感想を発信することができる。 ○授業で与えられたトピックについて、自分の意見をまとめて書くことができる。

2　学習の方法

(1)　予習について

ただ授業を聞いているだけでは、英語を書いたり話したりはできるようになりません。自分の中に、表現できる「型」のストックをどれだけたくさん持つことができるかが、英語でコミュニケーションを図る基本になります。ですから、教科書の Focus にある例文は授業の前に確実に覚えておきましょう。また、Forest 等を使って、教科書の Exercised やワークブックの問題にも取り組んでおきましょう。

(2)　授業について

頭に入っている英語の「型」を用いて、英語を話したり、書いたりすることがこの授業の目的です。ですから、受け身になって「教えてもらおう」という態度ではいけません。授業は英語の基礎トレーニング。ヒットをたくさん打てるようになるために素振りを繰り返したり、トスバッティングを行ったりするのと同じことです。とにかく英語を使ってみようという態度で授業に臨んでください。

(3)　復習について

習った事項を実際に使えるレベルまで高めるために、基本例文を暗唱したり、自分のことを表現できるように今一度英語の「型」が理解できているかどうか、確認してみてください。

〈学習アドバイス〉
学習した内容についてあらすじをまとめたり、意見を交換することで、発展的な力を伸ばすことができます。教科書を受け身で学習するだけでなく、教科書のトピックから見聞を広げ、教科書を超える力をつけましょう。

3　評価について

(1)　評価の観点

観　点	趣　旨
①関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 主に、アクティビティへの参加・協力や、課題の取り組み、授業で扱われた題材への興味・関心で評価します。
②表現の能力	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。主に、英語を用いて話したり、書いたりする能力で評価します。
③理解の能力	外国語を聞いたり、読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が伝え陽とすることを理解する。主に、英語を聞いたり読んだりして、中身を理解する能力で評価します。
④知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともにその背景にある文化などを理解している。主に、文法や英語の基礎知識が身についているか、授業で扱われた題材についての周辺知識を理解しているかで評価します。

(2)　評価の方法（以下観点①～④は「(1)　評価の観点」と対応する）

評価材料／観点	定期考査		Communication Workshop	Expression Workshop	group work	pair work	ワーク等の取組	Essay Writing
①関心・意欲・態度	○	授業中のアクティビティに関する問題、自由英作文等	○		○	○	○	○
②表現の能力	○	英作文、語句整序、自由英作文　等	○		○	○		○
③理解の能力	○	発音・アクセント、リスニング等	○		○	○		
④知識・理解	○	文法語法問題、教科書題材の背景知識等に関する問題　等	○	○			○	○

〈担当者からのメッセージ〉
○　定期考査だけでなく、普段の学習活動の中で行われるアクティビティにおいても、評価を行っていきます。
○　この教科のタイトルは「英語表現」です。ただ授業を聞いているだけでは「表現」になりません。例文を暗唱するだけでも「表現」にはなりません。ここに出てきた例文を使って、自分や身の回りのことを英語で誰かに伝えることを目指して、授業に臨んでください。
○　授業には、自分の知識をサポートする道具を忘れないようにしましょう。教科書、ワーク、Forest、辞書、ノートは忘れずに準備しておいてください。また、分からないことは、Forest や辞書できちんと調べておく癖をつけましょう。また、授業中でも分からないことはそのままにせず、きちんと質問しましょう。
○　英語は日々の積み重ねが大きな差を生む教科です。一夜漬けは絶対に通用しません。毎日コツコツ頑張りましょう。

４　授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考査等	反省等
4 5 6	Unit 1 動詞を使って世界を表現する Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5 Communication Workshop 1 Expression Workshop 1	動詞や文構造、時制に気を配りながら、以下のターゲットについて、表現の型を学ぶ。 ・自己紹介 ・電話 ・手紙 ・インタビュー ・予定説明 ・ニュースリポート	①各レッスンのターゲットに示された内容に基づいて、自分のことを英語で表現することができる。 ②5W１Hの情報を意識しながら、出来事を正確に分かりやすく相手に伝えることができる。 ③各レッスンのターゲットに示された内容や、それに基づいて表現された英語を理解することができる。 ④動詞や文構造、時制について、各種表現方法を理解し、使用することができる。	１学期中間考査	
7 8	Unit 2 「動詞まわり」で動作・状態・気持ちを表現する Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8 Lesson 9 Lesson 10 Communication Workshop 2 Expression Workshop 2	完了形、助動詞、受動態など動詞の表現のバリエーションを増やして、以下のターゲットについて、表現の型を学ぶ。 ・ショートスピーチ ・Ｅメール ・ブログ ・実況中継 ・文化の紹介 ・レシピ	①各レッスンのターゲットに示された内容に基づいて、自分のことを英語で表現することができる。 ②順序や時間の前後関係をはっきりと示して物事の経過や手順について英語で表現できる。 ③各レッスンのターゲットに示された内容や、それに基づいて表現された英語を理解することができる。 ④完了形、助動詞、受動態について、各種表現方法を理解し、使用することができる。		
9 10	Unit 3 「動詞パワー」を文に取り込んで表現する Lesson 11 Lesson 12 Lesson 13 Lesson 14 Lesson 15 Communication Workshop 3 Expression Workshop 3	準動詞の基本的な表現方法を理解し、知覚動詞・使役動詞などを用いて、以下のターゲットについて、表現の型を学ぶ。 ・広告 ・漫画 ・レシピ ・招待状 ・学校新聞 ・スピーチ	①各レッスンのターゲットに示された内容に基づいて、自分のことを英語で表現することができる。 ②自分の主張をしっかりと裏付けて説明するために、理由を効果的に提示することができる。 ③各レッスンのターゲットに示された内容や、それに基づいて表現された英語を理解することができる。 ④準動詞の基本的な表現方法を理解し、知覚動詞や使役動詞を効果的に用いることができる。	１学期期末考査	
11 12	Unit 4 文をつないで表現する Lesson 16 Lesson 17 Lesson 18 Lesson 19 Lesson 20 Communication Workshop 4 Expression Workshop 4	関係詞や接続詞等を用いた文の修飾関係を理解しながら、以下のターゲットについて、表現の型を学ぶ。 ・取扱説明書 ・ガイドブック ・新聞記事 ・講演 ・ニュースレポート ・ポスターセッション	①各レッスンのターゲットに示された内容に基づいて、自分のことを英語で表現することができる。 ②抽象的な事柄や言葉を説明する際に、具体的な例を効果的に提示することができる。 ③各レッスンのターゲットに示された内容や、それに基づいて表現された英語を理解することができる。 ④文の修飾関係を示すために、関係詞や接続詞を効果的に使用することができる。	２学期中間考査	
1 2 3	Unit 5 情報・考え・気持ちなどを豊かに表現する Lesson 21 Lesson 22 Lesson 23 Lesson 24 Lesson 25 Communication Workshop 5 Expression Workshop 5	仮定法、比較、話法などに気を配りながら、以下のターゲットについて、表現の型を学ぶ。 ・スピーチ ・インタビュー ・プレゼンテーション ・パンフレット ・ディスカッション ・プレゼンテーション	①各レッスンのターゲットに示された内容に基づいて、自分のことを英語で表現することができる。 ②原因と結果を効果的に提示し、出来事の道筋をよりわかりやすくしながら、出来事などについて相手に伝えることができる。 ③各レッスンのターゲットに示された内容や、それに基づいて表現された英語を理解することができる。 ④仮定法、比較、話法について、各種表現方法を理解し、使用することができる。	２学期期末考査	

※　評価の観点①は関心・意欲・態度、②は表現の能力、③は理解の能力、④は知識・理解を表しています。
※　授業計画は進度により前後することがあります。

５回生　必修科目「英語Ⅱ」授業のシラバス

教科名	外国語	科目名	英語Ⅱ	単位数	４単位
科目の目標	幅広い話題について，聞いたことや読んだことを理解し，情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力を更に伸ばすとともに，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。				
教科書	Revised POLESTAR English Course Ⅱ（数研出版）	副教材	改訂版　POLESTAR English Course レッスンノート Revised POLESTAR English CourseⅡ準拠学習用 CD New Edition Next Stage 総合英語　Forest 6th edition		

1　学習の目標

(1)　英語Ⅰを基礎に置き、習熟度に応じて、英語運用のより高度なアクティビティを通して、英語を実際に使える力を身に付ける。

(2)　コミュニケーションツールとしての英語を駆使して、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

英語運用の４技能の目標

聞くこと	○主題のはっきりした話について、重要な情報を理解することができる。 ○身近な話題について、自分の意見と比較しながら、他人の意見を聞くことができる。
話すこと	○自分になじみのある話題について英語で話し合ったり、出来事などについて英語でやりとりができる。 ○相手の質問に対して、ある程度まとまった内容を、適切に話すことができる。
読むこと	○教科書の本文について、複数の段落間のつながりや文章全体の構成を理解できる。 ○英語で書かれた内容について、自分の意見と対比しながら、読むことができる。
書くこと	○自分の興味ある話題やものに対して、読み手を意識しながら、意見や感想を発信することができる。 ○自分の意見に対して、いくつかの理由を列挙して書くことができる。

2　学習の方法

(1)　予習について

Basic コースでは基本の文法事項の定着に力を入れます。教科書に出てくる新出の文法事項の説明については、Forest を使って予習をし、新出単語や表現は辞書を使って十分に調べておきましょう。Standard コースでは教科書本文の精読に力を入れます。予習プリントを使って自分なりに初めて見る文をしっかり解釈できるようにしておいてください。Master コースでは授業のインプットは音声から行います。予習ではなく復習中心の授業になります。

(2)　授業について

Basic コースでは単文レベルで文法をしっかりと確認することが求められます。文法事項を確認しながら、英語の理解を完璧にすること目的に、着実な定着を目指していきます。Standard コースでは教科書本文をしっかり解釈するため、文法の説明を基盤にして、本文の要旨を的確に捉えていくことを目指します。Master コースでは本文の読解はもちろんのこと、国立大学二次試験を意識した和訳や要約などの演習も行っていきます。また、各コースとも、リスニング、ライティング、スピーキング、ライティングを用いたプロジェクトを行い、実際に英語を使うことを目指します。

(3)　復習について

習った事項を実際に使えるレベルまで高めるために、文法や読解の確認を進め、それと同時に内容を理解したうえで相手に伝わるような音読の練習をしていきましょう。

〈学習アドバイス〉

英語はただ頭で覚えているだけでは、何の役にも立ちません。もちろん、ただ闇雲に話そうとするのもまた、意味がありません。知識として理解したものを反復し、実際に使ってみようとする心がけが大切です。

3　評価について

(1)　評価の観点

観　点	趣　旨
①関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。主に、アクティビティへの参加・協力や、課題の取り組み、授業で扱われた題材への興味・関心で評価します。
②表現の能力	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。主に、英語を用いて話したり、書いたりする能力で評価します。
③理解の能力	外国語を聞いたり、読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が伝えようとすることを理解する。主に、英語を聞いたり読んだりして、中身を理解する能力で評価します。
④知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともにその背景にある文化などを理解している。主に、文法や英語の基礎知識が身についているか、授業で扱われた題材についての周辺知識を理解しているかで評価します。

(2)　評価の方法（以下観点①～④は「(1)　評価の観点」と対応する）

評価材料 / 観点	定期考査・休業明けテスト		Next Stage	1min. speech	Essay Writing	Interview	Discussion	other activities
①関心・意欲・態度	○	Next Stage 等課題に関する定着、授業中のアクティビティに関する問題、自由英作文　等		○	○	○	○	○
②表現の能力	○	英作文、語句整序、自由英作文　等	○	○	○	○	○	○
③理解の能力	○	発音・アクセント、リスニング、読解問題（教科書の題材および応用問題）　等			○	○	○	○
④知識・理解	○	文法語法問題、教科書題材の背景知識等に関する問題　等		○			○	○

〈担当者からのメッセージ〉

○　定期考査では、発音・アクセント、文法・語法、語句整序、読解、自由英作文、リスニング等の問題が出ます。教科書本文以外からも出題されるので、普段から使える英語力を身につけることを心がけてください。

○　分からないことは、Forest や Next　Stage できちんと調べておく癖をつけましょう。また、授業中でも分からないことはそのままにせず、きちんと質問しましょう。

○　習熟度別のクラス編成については、定期考査、模擬試験、GTEC の結果をもとに行います。

４　授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考査等	反省等
4	Lesson 1 Travel Manners	地域や・文化によって異なるジェスチャー、タブーや、非言語コミュニケーションの大切さを学習する。	①自主的、積極的に課題に取り組んでいる。 ②タブーについて自分の意見を述べることができる。 ③タブーや非言語コミュニケーションについての情報を理解することができる。 ④to 不定詞受動態、助動詞過去形による推量表現、前置詞＋関係代名詞を使った文を理解できる。		
5 6	Lesson 2 Visions of the Night	睡眠サイクル等眠ることのメカニズムについて学習する。（レッスン後半は割愛）	①自主的、積極的に課題に取り組んでいる。 ②適切なスピード、イントネーション、ポーズを用いて本文の音読ができる。 ③睡眠サイクルのメカニズムについての情報を理解できる。 ④関係詞継続用法、過去の事実に対する推量、完了不定詞を用いた文を理解できる。	１学期中間考査	
7	Lesson 3 Doctors to the World	国境無き医師団の活動について、世界で一番短命の国シエラレオネで活動した山本医師のメッセージを交えて学習する。	①自主的、積極的に課題に取り組んでいる。 ②自分のできる国際貢献について、意見を述べることができる。 ③ＭＳＦの取り組みについての情報を理解することができる。 ④過去分詞を用いる分詞構文、複合関係詞、関係詞継続用法を用いた文を理解することができる。	夏季休業課題 （語彙・読解） 休業明けテスト	
8 9	Lesson 4 Living with Movies ― Toda Natsuko	字幕翻訳家戸田奈津子さんのエッセイを通じて、翻訳家になるまでの経緯や、字幕作成の手順・苦労などを学習する。	①自主的、積極的に課題に取り組んでいる。 ②自分の将来について意見を述べることができる ③手順の説明を理解することができる。 ④完了分詞構文、未来進行形、同格表現を用いた英文を理解することができる。	１学期期末考査	
10	Lesson 5 Future Talk: An Interview with Bill Gates	米国テレビ司会者ラリー・キングによるビル・ゲイツ氏へのインタビューを読み、今後私たちの暮らしはどのような発展を遂げるのかを学習する。	①自主的、積極的に課題に取り組んでいる。 ②ペアでインタビューを行うことができる。 ③ビル・ゲイツの描く未来像を理解することができる。 ④形式目的語、進行形の受動態、複合関係詞を用いた文を理解することができる。	海外見学旅行に向けた指導	
11 12	Lesson 6 Smart Guessing	物理学者Ｅ・フェルミが提唱したフェルミ推定の考え方や実際の推定問題について学習する。（Section4 は割愛）	①自主的、積極的に課題に取り組んでいる。 ②適切なスピード、イントネーション、ポーズを用いて本文の音読ができる。 ③フェルミ推定の考え方を理解することができる。 ④関係詞継続用法、仮定法現在、否定形の分詞構文を用いた文を理解することができる。	２学期中間考査 冬季休業課題 （語彙・読解） 休業明けテスト	
1 2	Lesson 7 In Search of Light	ゴッホの人生を作品と絡めて紹介している文章を読んで、彼の人生や交友関係、作品世界について学習する。	①自主的、積極的に課題に取り組んでいる。 ②ゴッホの作品を見て自分の意見を述べることができる。 ③ゴッホの生涯と作品の特徴を理解することができる。 ④分詞補語、動名詞の意味上の主語を用いた文を理解することができる。	２学期期末考査	
3	Lesson 8 Will This Be the Bio-Century?	遺伝子組み換え作物に期待されることや、逆に懸念されることなど、賛成派・反対派双方の視点から考える。	①自主的、積極的に課題に取り組んでいる。 ②遺伝子組み換え作物に関するディベートを行うことができる。 ③遺伝子組み換え作物の長所と短所を理解することができる。 ④仮定法未来、未来完了、結果を表す不定詞を用いた文を理解することができる。		

※　評価の観点①は関心・意欲・態度、②は表現の能力、③は理解の能力、④は知識・理解を表しています。
※　授業計画は進度により前後することがあります。
。

５回生　必修科目「ライティング」授業のシラバス

教科名	外国語	科目名	ライティング	単位数	２単位
科目の目標	情報や考えなどを，場面や目的に応じて英語で書く能力を更に伸ばすとともに，この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。				
教科書	PRO-VISION ENGLISH WRITING NEW EDITION（桐原書店）	副教材	PRO-VISION ENGLISH WRITING NEW EDITION Workbook（桐原書店） 総合英語 Forest（桐原書店） Hyper Listening Intermediate New Edition（桐原書店）		

１　学習の目標

⑴　今まで習ってきた英語の材料（文法や単語・イディオム、基本的な文章構造）を使って、実際に英語を書いてコミュニケーションを図る力をつける。

⑵　ペアワークやグループワークを通じて多くの英語を書くこと、間違いを互いに見つけて正しい書き方に直せることを目標にします。

英語運用の４技能の目標

聞くこと	○主題のはっきりした話について、重要な情報を理解することができる。 ○身近な話題について、自分の意見と比較しながら、他人の意見を聞くことができる。
話すこと	○自分に馴染みのある話題について英語で話し合ったり、出来事などについて英語でやりとりができる。 ○相手の質問に対して、ある程度まとまった内容を、適切に話すことができる。
読むこと	○教科書の本文について、複数の段落間のつながりや文章全体の構成を理解できる。 ○英語で書かれた内容について、自分の意見と対比しながら、読むことができる。
書くこと	○自分の興味ある話題やものに対して、読み手を意識しながら、意見や感想を発信することができる。 ○自分の意見に対して、いくつかの理由を列挙して書くことができる。

２　学習の方法

⑴　予習について

教員からは大まかな説明しかしません。ですから、皆さんが実際に書いてみて、それをチェックする授業になると考えてください。そのため、教科書の PRACTICE やワークブックの問題は予め取り組んでおいてください。また、必要と思われる単語は予め辞書で調べ、自分なりのワードバンクを作っておいてください。ワークブックの取り組みについては、随時確認していきます。

⑵　授業について

基本的には皆さんが予習で学習してきたものを確認したり、ペアで重要表現を確認したり、グループや個人で英作文に取り組んだりする授業になります。昨年度まで Forest Intensive で文法を学習してきましたから、説明は大まかなにしかしません。ただし、分からないことは、授業中に質問して皆で共有することを心がけましょう。

⑶　復習について

ワークブックの基本的な問題に関しては、授業中に解説はしません。配られた解答を見て自分の解答と比較検討しておいてください。また、自由英作文の課題も結構課されますので、必ず提出するようにしましょう。

〈学習アドバイス〉
とにかく量を書くことが大事。まずはとにかく書くことを目指しましょう。そして次に自分たちで基本的なミスを見つけ出せるように工夫していきましょう。

３　評価について

⑴　評価の観点

観　点	趣　旨
①関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 主に、アクティビティへの参加・協力や、課題の取り組み、授業で扱われた題材への興味・関心で評価します。
②表現の能力	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。この教科では主に、英語を用いて書く能力で評価します。
③理解の能力	外国語を聞いたり、読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が伝えようとすることを理解する。 主に、英語を聞いたり読んだりして、中身を理解する能力で評価します。
④知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともにその背景にある文化などを理解している。主に、文法や英語の基礎知識が身についているか、授業で扱われた題材についての周辺知識を理解しているかで評価します。

⑵　評価の方法（以下観点①～④は「⑴　評価の観点」と対応する）

評価材料 観点	定期考査		Work book	Hyper Listening	pair work	group work	Essay Writing	other activities
①関心・意欲・態度	○	授業中の説明の大まかな理解、授業中のアクティビティに関する問題、自由英作文　等	○		○	○	○	○
②表現の能力	○	英作文、語句整序、自由英作文　等	○				○	○
③理解の能力	○	リスニング、読解を要する問題　等		○				○
④知識・理解	○	文法語法問題、教科書題材の背景知識等に関する問題　等	○			○		○

〈担当者からのメッセージ〉
○　定期考査では、センター試験などを意識して、教科書やワークでやった問題以外に、様々な応用問題が出ます。
○　昨年度学習した Forest のワークは、復習を繰り返して、基礎を確実なものにしておきましょう。
○　分からないことは、Forest や Next　Stage できちんと調べておく癖をつけましょう。また、授業中でも分からないことはそのままにせず、きちんと質問しましょう。
○　２単位しかありませんが内容は盛り沢山です。たくさん書くことが英語の正確さにつながっていくものです。授業だけでなく、家庭学習でも常に英語を意識して取り組みましょう。

４　授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考査等	反省等
4	英語の文章構造の学習（１）	文章としての英語の大まかな流れを確認する。 英文の流れを確認するＷＳ ○抽象・包括→具体・詳細への流れ ○topic→support→conclusionの流れ	①課題に取り組み、ペアワーク等に積極的に参加している。 ②③英語で書かれた文章の大まかな流れを理解し、それを構成する要素を、読み手を意識して並べることができる。		
	単文の語順の学習	英語の語順の基礎を学習する。 各文法項目を雑駁に理解する。	①課題に取り組み、ペアワーク等に積極的に参加している。 ②④英語の基本的な語順を理解して、簡単な英文を組み立てることができる。		
5	●主語・述語・目的語の学習 Lesson ３ ５文型 動詞の語法の学習	英語の語順を元に、主語・述語・目的語・補語の役割を確認する。	①課題に取り組み、ペアワーク等に積極的に参加している。 ②英文の骨組みに当たる部分を構築し、文を組み立てることができる。 ④動詞の語法を理解しながら、文型に従って文を構築できる。		
6	Hyper Listening L1- L4		③イラストの描写表現、留守番電話のメッセージ、簡単な会話表現、位置を表す表現にてついて、適切に聞き取ることができる。	１学期中間考査	
7	●述語の学習（１） Lesson 1/2　時制 Lesson 6/7　完了形	動詞の機能の学習として、時制概念を学習する。 将来の計画や、歓迎・同情などの感情を表す表現と時制概念を組み合わせて学習する。	①課題に取り組み、ペアワーク等に積極的に参加している。 ②過去の出来事や将来の計画、学校などの歴史についての文章を書くことができる。 ④進行形、完了形を含め、英語の時制を理解している。		
	GTEC 準備学習（１）	説得力のある文の書き方を学ぶ。		GTEC	
8 9	●準動詞の学習（１） Lesson ４　不定詞 Lesson ５　動名詞	準動詞を学習することで、表現の幅を広げる。 準動詞の概念を理解し、それぞれの文中における役割を理解する。 お祝いを述べたり、好みを言う表現も合わせて学習する。	①課題に取り組み、ペアワーク等に積極的に参加している。 ②自分の趣味についてや友達の好きなことを紹介する文章を書くことができる。 ④不定詞・動名詞のそれぞれの役割を理解している。		
10	Hyper Listening L5 – L8		③連絡事項、比較的長いアナウンスメント、グラフの説明、眺めの講義について、適切に聞き取ることができる。	Workbook 提出 １学期期末考査	
	●動詞周辺の表現の学習 Lesson 8/9　助動詞 Lesson 10　受け身	動詞周辺の表現を学習して、細かなニュアンス等表現の幅を広げる。許可や禁止、誘う表現や喜びを表す表現も合わせて学ぶ。	①課題に取り組み、ペアワーク等に積極的に参加している。 ②公共のルールについて、理由を述べながら自分の意見を書くことができる。 ④助動詞・受動態のそれぞれの役割を理解している。	海外見学旅行に向けた指導	
11	●準動詞の表現の学習（２） Lesson 11　分詞 Lesson 12　分詞補語 知覚動詞・使役動詞	修飾関係や補語で用いられる分詞を学び、知覚動詞や使役動詞など表現の幅を広げる。報告や言いにくいことを伝える表現も合わせて学ぶ。	①課題に取り組み、ペアワーク等に積極的に参加している。 ②新聞など出読んだ印象的な出来事について順序立てて報告することができる。 ④分詞の役割を理解し、知覚動詞や使役動詞の中で的確に用いることができる。		
	Hyper Listening L9 – L12		③数値の計算、ラジオ番組、ニュース、インタビューなどの英語について、適切に聞き取ることができる。	Workbook 提出 ２学期中間考査	
	GTEC 準備学習（２）	具体例を参考に説得力のある文の書き方を学ぶ。 効果的な support の書き方について学ぶ。	②主題に対する理由付けや根拠を明らかに英語で書くことができる。		
12	見学旅行事後学習		②既習の文法事項を用いて、海外見学旅行で体験したことを英語でまとめることができる。		
1 2	●英語の文章構造の学習（２） Lesson 13　間接疑問等 Lesson 14　形式主語目的語	より複雑な文構造を通じて、複層的な内容を伝える方法を学ぶ。 依頼文や賛成・反対、謝罪文の書き方も合わせて学ぶ。	①課題に取り組み、ペアワーク等に積極的に参加している。 ②ある話題について、賛成や反対の立場を明らかにして文章を書くことができる。 ④文構造を理解し、より複雑な文を構成することができる。	GTEC	
3	Hyper Listening L13-L16		③スピーチ、会話表現、グラフの説明、ディベートなどの英語について、適切に聞き取ることができる。	Workbook 提出 ２学期期末考査	
	●英語の文章構造の学習（２）続き Lesson 15　否定		①課題に取り組み、ペアワーク等に積極的に参加している。		
	Hyper Listening L17-L20		③ラジオ番組やインタビュー、ニュースなどの英語について、適切に聞き取ることができる。		

※　評価の観点①は関心・意欲・態度、②は表現の能力、③は理解の能力、④は知識・理解を表しています。

※　授業計画は進度により前後することがあります。

５回生　選択科目「英語アドバンスト」授業のシラバス

教科名	外国語	科目名	英語アドバンスト	単位数	２単位
科目の目標	英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばし、活用できるようにする。				
教科書		副教材	Cutting Edge 1（エミル出版） パスポート英作文（数研出版）		

1　学習の目標

(1)　様々な分野の英文を読みながら、情報を的確に捉える力を身につけるとともに、自らの意見を発信する力を身につける。

(2)　英語と日本語の発想の違いを学びながら、英作文などを学習する。

英語運用の４技能の目標

聞くこと	○主題のはっきりした話について、重要な情報を理解することができる。 ○身近な話題について、自分の意見と比較しながら、他人の意見を聞くことができる。
話すこと	○自分に馴染みのある話題について英語で話し合ったり、出来事などについて英語でやりとりができる。 ○相手の質問に対して、ある程度まとまった内容を、適切に話すことができる。
読むこと	○教科書の本文について、複数の段落間のつながりや文章全体の構成を理解できる。 ○英語で書かれた内容について、自分の意見と対比しながら、読むことができる。
書くこと	○自分の興味ある話題やものに対して、読み手を意識しながら、意見や感想を発信することができる。 ○自分の意見に対して、いくつかの理由を列挙して書くことができる。

2　学習の方法

(1)　予習について

読解の問題は、初めのうちは家でじっくりと予習してきてもらいます。その後、ある程度力がついてきた段階になったら、授業で初見の問題を読んで解く作業を行います。英作文は、問題集形式のものですから、辞書やForestを使いながら、しっかりと問題を解いていきましょう。

(2)　授業について

基本的には皆さんが予習で学習してきたものを確認したり、ペアで重要表現を確認したり、グループや個人で英作文に取り組んだりする授業になります。昨年度までForest Intensiveで文法を学習してきましたから、説明は大まかなにしかしません。ただし、分からないことは、授業中に質問して皆で共有することを心がけましょう。

(3)　復習について

授業中に学んだ大切なことをまとめておくノートを必ず準備しましょう。このノートは時折集めて、アドバイスしたいと思います。

〈学習アドバイス〉
とにかく量を書くことが大事。まずはとにかく書くことを目指しましょう。そして次に自分たちで基本的なミスを見つけ出せるように工夫していきましょう。

3　評価について

(1)　評価の観点

観　点	趣　旨
①関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 主に、アクティビティへの参加・協力や、課題の取り組み、授業で扱われた題材への興味・関心で評価します。
②表現の能力	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。この教科では主に、英語を用いて書く能力で評価します。
③理解の能力	外国語を聞いたり、読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が伝えようとすることを理解する。 主に、英語を聞いたり読んだりして、中身を理解する能力で評価します。
④知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともにその背景にある文化などを理解している。主に、文法や英語の基礎知識が身についているか、授業で扱われた題材についての周辺知識を理解しているかで評価します。

(2)　評価の方法（以下観点①～④は「(1)　評価の観点」と対応する）

評価材料 観点	定期考査		Work book	Hyper Listening	pair work	group work	Essay Writing	other activities
①関心・意欲・態度	○	授業中の説明の大まかな理解、授業中のアクティビティに関する問題、自由英作文　等	○		○	○	○	○
②表現の能力	○	英作文、語句整序、自由英作文　等	○				○	○
③理解の能力	○	リスニング、読解問題　等		○				○
④知識・理解	○	文法語法問題、教科書題材の背景知識等に関する問題　等	○			○		○

〈担当者からのメッセージ〉
- ○　定期考査では、センター試験などを意識して、様々な応用問題が出ます。
- ○　昨年度学習したForestのワークは、復習を繰り返して、基礎を確実なものにしておきましょう。
- ○　分からないことは、ForestやNext　Stageできちんと調べておく癖をつけましょう。また、授業中でも分からないことはそのままにせず、きちんと質問しましょう。
- ○　２単位しかありませんが内容は盛り沢山です。たくさん書くことが英語の正確さにつながっていくものです。授業だけでなく、家庭学習でも常に英語を意識して取り組みましょう。

４　授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考査等	反省等
4 5	Cutting Edge Unit 1	言語、時事・環境、科学、時事・社会についての英文を読む。 予習してきたものをもとに精読を進める。	①予習、復習にきちんと取り組み、それぞれの分野に関心を持ちながら、授業中の活動にも積極的に参加している。 ③それぞれの分野について、情報を的確に取り上げながら読むことができる。 ④それぞれの分野に関する語彙を把握し、接続詞や修飾語の使い方を理解できる。		
6	パスポート英作文 Ⅰ　英語の構造を理解する	英語の語順や、修飾語・修飾関係、文型の違いについて学ぶ。	①予習、復習にきちんと取り組み、それぞれの分野に関心を持ちながら、授業中の活動にも積極的に参加している。 ②英文の基本的な構造を理解して、文を作ることができる。 ④英語の語順や修飾関係を理解している。	１学期中間考査	
7 8 9	Cutting Edge Unit 2	時事・国際、教育、自然、時事・国際についての英文を読む。 文の主題を捉えるために、文章全体の流れを把握する読み方を学ぶ。	①予習、復習にきちんと取り組み、それぞれの分野に関心を持ちながら、授業中の活動にも積極的に参加している。 ③文章全体の流れを捉えて、その文章の要旨を的確に捉えることができる。 ④それぞれの分野に関する語彙を把握し、紛らわしい動詞の語法を捉えることができる。	１学期期末考査	
10 11	パスポート英作文 Ⅱ　日本語と英語の表現・発想の違いを理解する。	主語の組み立てや、否定表現、時制、態について、日本語と英語の発想の違いについて学ぶ。	①予習、復習にきちんと取り組み、それぞれの分野に関心を持ちながら、授業中の活動にも積極的に参加している。 ②英語特有の表現方法を理解して、英文を組み立てることができる。 ④主語の立て方や、時制、態について理解している。		
12 1	Cutting Edge Unit 3	経済、物語、心理、自然についての英文を読む。 英文を左から右へと理解することを意識しながら、速読の訓練をする。	①予習、復習にきちんと取り組み、それぞれの分野に関心を持ちながら、授業中の活動にも積極的に参加している。 ③速読を意識しながら、初見の文の要旨を素早く把握することができる。 ④それぞれの分野に関する語彙を把握し、分詞構文や接続副詞など、文修飾の形を理解している。	２学期中間考査	
2 3	パスポート英作文 Ⅲ　意味を伝える工夫をする	表現しやすい形を工夫したり、日本語の言い換えを考えたりなど、意味を伝える工夫の仕方を学ぶ。	①予習、復習にきちんと取り組み、それぞれの分野に関心を持ちながら、授業中の活動にも積極的に参加している。 ②意味を正しく捉えながら、理解しやすい英語を組み立てることができる。 ④英語の文章を組み立てるために必要な様々な文法事項などを理解している。	２学期期末考査	

※　評価の観点①は関心・意欲・態度、②は表現の能力、③は理解の能力、④は知識・理解を表しています。
※　授業計画は進度により前後することがあります。

６回生　必修科目「リーディング」授業のシラバス

教科名	外国語	科目名	リーディング	単位数	４単位
科目の目標	英語を読んで，情報や書き手の意向などを理解する能力を更に伸ばすとともに，この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。				
教科書	PRO-VISION ENGLISH READING NEW EDITION（桐原書店）	副教材	総合英語 Forest（桐原書店） Next Stage 英文法・語法問題（桐原書店） キクタン Advanced 6000（アルク） Listening Laboratory Advanced（数研出版）		

１　学習の目標

(1)　まとまりのある長い文章や物語を読んで、概要や要点をまとめたり、登場人物の気持ちの変化を味わったりする。
(2)　まとまりのある長い文章や物語を読んで考えたことや感じたことを、友人同士で伝え合い共有する。
(3)　書かれている内容を理解し、味わいながら情感豊かに音読する。

英語運用の４技能の目標

聞くこと	○ある程度の長さで複数の話題が含まれた話を聞いて、主題や重要な情報を理解できる。 ○教科書で扱われた話題について、自分の意見と比較しながら、他人の意見を聞くことができる。
話すこと	○教科書で読んだ話題などについて、理由を交えながら自分の意見を話すことができる。 ○英語で読んだり聞いたりした話題について、自分の意見を提示することができる。
読むこと	○教科書本文について、文章構成や重要な点を意識しながら読むことができる。 ○英語で書かれた文章について、書き手の意図などを理解して、自分の意見と比較しながら、文章を読むことができる。
書くこと	○自分の関心のある話題や身近な話題について、詳しく記述することができる。 ○自分の意見について理由を提示したり、自分が重要だと思う点を相手に理解させることができる。

２　学習の方法

(1)　予習について

Basic コースでは基本の文法事項の定着に力を入れますので、Next Stage や教科書の文法について、説明できるように準備をしておいてください。Standard コースでは教科書本文の精読に力を入れます。教科書に出てくる単語はもちろんこと、難しい英文をしっかり解釈できるようにしておいてください。Master コースでは授業のインプットは音声から行います。予習ではなく復習中心の授業になります。

(2)　授業について

Basic コースでは単文レベルで文法をしっかりと確認することが求められます。看護学校入試程度の英語の理解を完璧にすること目的に、着実な定着を目指していきます。Standard コースでは教科書本文をしっかり解釈するため、文法の説明を基盤にして、本文の要旨を的確に捉えていくことを目指します。Master コースでは本文の読解はもちろんのこと、国公立大学二次試験を意識した和訳や要約などの演習を行っていきます。第２学期からは、それぞれ入試対策用の異なったテキストを用いて演習を進めていきます。

(3)　復習について

６年間の英語の集大成です。復習ノートを作り、ディクテーションや音読を常日頃から行って、とにかく膨大な英語のデータベースを頭の中に作り上げることを常に心がけてください。英語Ⅰや英語Ⅱの教科書についても各自復習し、語彙や文法事項を含め、使える英語を目標に頭にたたき込んでください。

〈学習アドバイス〉
「英語のデータベースの構築」が６回生のテーマです。リーディングという科目に縛られることなく、今までの集大成として、「使える英語」を身につけていってください。「知識の獲得」→「使用」→「知識の定着（データベース）」のサイクルを大切に。

３　評価について

(1)　評価の観点

観　点	趣　旨
①関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 主に、アクティビティへの参加・協力や、課題の取り組み、授業で扱われた題材への興味・関心で評価します。
②表現の能力	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。主に、英語を用いて話したり、書いたりする能力で評価します。
③理解の能力	外国語を聞いたり、読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が伝えようとすることを理解する。 主に、英語を聞いたり読んだりして、中身を理解する能力で評価します。
④知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともにその背景にある文化などを理解している。主に、文法や英語の基礎知識が身についているか、授業で扱われた題材についての周辺知識を理解しているかで評価します。

(2)　評価の方法（以下観点①～④は「(1)　評価の観点」と対応する）

評価材料／観点	定期考査		Next Stage	Essay Writing	Discussion	Listening Interaction	other activities (group/pair work 等)
①関心・意欲・態度	○	Next Stage 等課題に関する定着、授業中のアクティビティに関する問題、自由英作文　等	○	○	○	○	○
②表現の能力	○	英作文、語句整序、自由英作文　等		○	○		○
③理解の能力	○	発音・アクセント、リスニング、読解問題（教科書の題材および応用問題）　等			○	○	○
④知識・理解	○	文法語法問題、教科書題材の背景知識等に関する問題　等	○				○

〈担当者からのメッセージ〉
○　定期考査では、共通問題・選択問題それぞれ 50 点分出題します。共通問題をベースに選択問題の出来を加味しながら、成績をつけていきます。
○　習熟度展開においては、第１学期は皆さんの希望進路と成績を見ながらこちらで振り分けます。第２学期からは皆さんの進路に応じた希望によって振り分けます。

４　授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考査等	反省等
4	Lesson 1 E-mails for Understanding ●フレーズ・リーディング ●スキャニング	長い文章を意味チャンクで区切り、情報を整理しながら読む。 文章全体を精読せずに、特定の情報を探しながら素早く読んだり、予め提示され情報を文章の中から探し出す。 センター試験の第４問を意識した読み方を練習する。	①課題に自主的積極的に取り組んでいる。 ②必要な情報を文章の中から探しだし、必要に応じて整理しながら、内容をまとめることができる。 ③求められている情報を、まとまった英文や図表の中から素早く検索することができる。 ④分詞構文や過去完了進行形、過去完了の受動態について、適切に内容を理解できる。		
5 6	Lesson 2 Letters from Space ●直読直解 ●スキミング	関係詞などが用いられた複雑な構造の英文を、できるだけ日本語に頼らずに、英語の語順の通りに読み進める。 パラグラフや文章全体にさっと目を通し、概要・構成や筆者の意図などを素早く読み取る。 センター試験の第３問を意識した読み方を練習する。	①課題に自主的積極的に取り組んでいる。 ②文章の概要や筆者の意図などについて、情報を整理してまとめることができる。 ③文章の概要や筆者の意図などについて、まとまった英文から素早く見つけ出すことができる。 ④関係詞などが用いられた複雑な構造の英文や省略のある英文を理解することができる。	１学期中間考査	
	Lesson 3 Past, Present, and Future ●論説文を読む	パラグラフや文章全体の構造を意識しながら、トピックとサポートを的確に捉えて、筆者の伝えたい考えや情報を整理する。 センター試験の第６問を意識した読み方を練習する。	①課題に自主的積極的に取り組んでいる。 ②論説文の概要についてまとめたり、自分の意見を提示したりできる。 ③論説文を読んで、筆者の考えやその根拠を理解することができる。 ④強調構文や if 節に相当する過程を表す語句を適切に理解できる。		
7	Lesson 4 See the Light ●物語文を読む	５Ｗ１Ｈに注目ししながら、場面と挿話に関する情報を拾い上げ、時系列で情報を整理する。 センター試験の第５問を意識した読み方を練習する。	①課題に自主的積極的に取り組んでいる。 ②物語の概要についてまとめたり、自分の感想を提示したりできる。 ③物語文を読んで、話の展開や場面を理解することができる。 ④未知語を推測し、本文を読み進めることができる。		
8 9	Lesson 6 Critical Thinking and Reasoning Skills ●クリティカルリーディング	文章中にある情報を客観的事実と筆者の意見とに分類し、筆者の意図や見解を読み取る。 文章の内容を理解し、自分の意見と照らし合わせて相違点を整理する。	①課題に自主的積極的に取り組んでいる。 ②意見の相違などについて、考えをまとめ、教諭することができる。 ③客観的事実と筆者の意見とを分類し、文章の意図や見解を読み取ることができる。 ④同格や等位接続詞を適切に把握して文の構造を理解することができる。	１学期期末考査	
10 11 12 1	●進路別学習	進路別に課題を準備し、自学で取り組む	①課題に自主的積極的に取り組んでいる。		

※　評価の観点①は関心・意欲・態度、②は表現の能力、③は理解の能力、④は知識・理解を表しています。
※　年間を通じてリスニング教材を使用し、③理解の能力として評価します。
※　授業計画は進度により前後することがあります。

６回生　必修科目「ライティング」授業のシラバス

教科名	外国語	科目名	ライティング	単位数	２単位
科目の目標	情報や考えなどを，場面や目的に応じて英語で書く能力を更に伸ばすとともに，この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。				
教科書	PRO-VISION ENGLISH WRITING NEW EDITION（桐原書店）	副教材	PRO-VISION ENGLISH WRITING NEW EDITION Workbook（桐原書店） 総合英語 Forest（桐原書店）		

1　学習の目標

⑴　今まで習ってきた英語の材料（文法や単語・イディオム、基本的な文章構造）を使って、実際に英語を書いてコミュニケーションを図る力をつける。

⑵　ペアワークやグループワークを通じて多くの英語を書くこと、間違いを互いに見つけて正しい書き方に直せることを目標にします。

英語運用の４技能の目標

聞くこと	○ある程度の長さで複数の話題が含まれた話を聞いて、主題や重要な情報を理解できる。 ○教科書で扱われた話題について、自分の意見と比較しながら、他人の意見を聞くことができる。
話すこと	○教科書で読んだ話題などについて、理由を交えながら自分の意見を話すことができる。 ○英語で読んだり聞いたりした話題について、自分の意見を提示することができる。
読むこと	○教科書本文について、文章構成や重要な点を意識しながら読むことができる。 ○英語で書かれた文章について、書き手の意図などを理解して、自分の意見と比較しながら、文章を読むことができる。
書くこと	○自分の関心のある話題や身近な話題について、詳しく記述することができる。 ○自分の意見について理由を提示したり、自分が重要だと思う点を相手に理解させることができる。

2　学習の方法

⑴　予習について

今年もグループワークを中心に行っていきます。予習の状態が良くなければ、グループのメンバーの足を引っ張ります。結果をよく考えて取り組んでください。皆さんが実際に書いてみて、それをチェックする授業です。ですから、昨年と同じく、教科書のPRACTICE やワークブックの問題は予め取り組んでおいてください。また、必要と思われる単語は予め辞書で調べ、自分なりのワードバンクを作っておいてください。ワークブックの取り組みについては、随時確認していきます。

⑵　授業について

基本的には昨年度終盤と同じく、皆さんが予習で学習してきたものを確認したり、ペアで重要表現を確認したり、グループや個人で英作文に取り組んだりする授業になります。昨年度まで Forest Intensive で文法を学習してきましたから、説明は大まかなにしかしません。ただし、分からないことは、授業中に質問して皆で共有することを心がけましょう。教科書 UNIT１が終わったら、進路別で課題を課します。

⑶　復習について

ワークブックの基本的な問題に関しては、授業中に解説はしません。配られた解答を見て自分の解答と比較検討しておいてください。また、自由英作文の課題も結構課されますので、必ず提出するようにしましょう。

〈学習アドバイス〉
とにかく量を書くことが大事。まずはとにかく書くことを目指しましょう。そして次に自分たちで基本的なミスを見つけ出せるように工夫していきましょう。

3　評価について

⑴　評価の観点

観　点	趣　旨
①関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 主に、アクティビティへの参加・協力や、課題の取り組み、授業で扱われた題材への興味・関心で評価します。
②表現の能力	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。この教科では主に、英語を用いて書く能力で評価します。
③理解の能力	外国語を聞いたり、読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が伝えようとすることを理解する。 主に、英語を聞いたり読んだりして、中身を理解する能力で評価します。
④知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともにその背景にある文化などを理解している。主に、文法や英語の基礎知識が身についているか、授業で扱われた題材についての周辺知識を理解しているかで評価します。

⑵　評価の方法（以下観点①～④は「⑴　評価の観点」と対応する）

評価材料／観点	定期考査		Work book	Hyper Listening	pair work	group work	Essay Writing	other activities
①関心・意欲・態度	○	授業中の説明の大まかな理解、授業中のアクティビティに関する問題、自由英作文　等	○		○	○	○	○
②表現の能力	○	英作文、語句整序、自由英作文　等	○				○	○
③理解の能力	○	リスニング、読解を要する問題　等		○				○
④知識・理解	○	文法語法問題、教科書題材の背景知識等に関する問題　等	○			○		○

〈担当者からのメッセージ〉

○　定期考査では、センター試験などを意識して、教科書やワークでやった問題以外に、様々な応用問題が出ます。

○　昨年度学習した Forest のワークは、復習を繰り返して、基礎を確実なものにしておきましょう。

○　分からないことは、Forest や Next　Stage できちんと調べておく癖をつけましょう。また、授業中でも分からないことはそのままにせず、きちんと質問しましょう。

○　２単位しかありませんが内容は盛り沢山です。たくさん書くことが英語の正確さにつながっていくものです。授業だけでなく、家庭学習でも常に英語を意識して取り組みましょう。

４　授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考査等	反省等
4 5	●関係詞の理解 Lesson 16 〇関係代名詞を用いたフレーズメイキング Lesson 17 〇関係副詞を用いたフレーズメイキング Lesson 18 〇限定用法と継続用法 〇関係代名詞 what 〇複合関係詞	関係詞を用いて名詞を後置修飾する仕組みを学ぶ。 関係詞を用いて複層的な文を作る。 関係詞の応用的な表現を学び、表現の幅を広げる。	①課題に自主的積極的に取り組み、グループワークなどに積極的に参加している。 ②社会問題について自分お考えを提示できる。 ③関係詞を使った語の定義等の説明文を理解できる。 ④関係詞の種類や使い方を把握している。		
6	●比較表現の理解 Lesson 19 Lesson 20 〇形容詞・副詞の使い方 〇比較の基本 〇比較表現の作り方	比較表現を的確に用いることができるよう、形容詞・副詞の基本から学ぶ。 日本人が陥りやすい間違いを指摘することから、比較文の作り方を学ぶ。	①課題に自主的積極的に取り組み、グループワークなどに積極的に参加している。 ②数値データをもとに説明する英文を書くことができる。 ③表やグラフなどデータに基づく説明を理解できる。 ④比較の仕方を理解している。		
	センター形式のリスニング		③ある程度まとまった分量の英文を聞き、内容を理解することができる。	Workbook 提出 １学期中間考査	
7 8	●文構造の理解 Lesson 21 〇強調の表現 Lesson 22 Lesson 23 〇接続詞 Lesson 24 〇分詞構文	応用的な構造を持つ文について学ぶ。 接続詞や分詞構文など、文修飾のパターンを学び、文のバリエーションを増やす。	①課題に自主的積極的に取り組み、グループワークなどに積極的に参加している。 ②自分の意見を提示したり、その理由を詳しく説明する文章を書くことができる。 ③複層的に書かれた英文について、内容を汲み取ることができる。 ④比較の仕方を理解している。		
9	●仮定法の理解 Lesson 25 〇直説法と仮定法の違い 〇仮定法表現の基本と仮定法過去・過去完了による作文 〇if 節のない仮定法等仮定法の応用	開放条件と閉鎖条件の違いを理解し、法の仕組みを理解する。 仮定法の基本形を理解することで、英文のニュアンスの幅を広げる。 仮定法で表すべきニュアンスを理解して、それを英文で表す。	①課題に自主的積極的に取り組み、グループワークなどに積極的に参加している。 ②自分の願望や後悔の体験についての文章を書くことができる。 ③仮定法や直説法で描かれた話者の気持ちを理解できる。 ④仮定法の基本的な形や応用表現、慣用表現を理解している。		
	センター形式のリスニング		③ある程度まとまった分量の英文を聞き、内容を理解することができる。	Workbook 提出 １学期期末考査	
10 11 12 1	●進路別学習	進路別に課題を準備し、自学で取り組む。	①課題に自主的積極的に取り組めている。		

※　評価の観点①は関心・意欲・態度、②は表現の能力、③は理解の能力、④は知識・理解を表しています。
※　授業計画は進度により前後することがあります。

６回生　選択科目「英語講読」授業のシラバス

教科名	外国語	科目名	英語講読	単位数	３単位
科目の目標	社会問題、科学問題などを扱った英文を精読して、文の構造をとらえながら書き手の考えや話の筋を理解する能力を養う。				
教科書		副教材	Skill Builder 入試標準編		

１　学習の目標

⑴　５回生までの英語をもとに、あるまとまった内容の長文を読み、情報や考えを的確に理解する能力を養う。

⑵　文の構造や文法事項を自分で読み取り、説明できる能力を養う。

英語運用の４技能の目標

聞くこと	○ある程度の長さで複数の話題が含まれた話を聞いて、主題や重要な情報を理解できる。 ○教科書で扱われた話題について、自分の意見と比較しながら、他人の意見を聞くことができる。
話すこと	○教科書で読んだ話題などについて、理由を交えながら自分の意見を話すことができる。 ○英語で読んだり聞いたりした話題について、自分の意見を提示することができる。
読むこと	○教科書本文について、文章構成や重要な点を意識しながら読むことができる。 ○英語で書かれた文章について、書き手の意図などを理解して、自分の意見と比較しながら、文章を読むことができる。
書くこと	○自分の関心のある話題や身近な話題について、詳しく記述することができる。 ○自分の意見について理由を提示したり、自分が重要だと思う点を相手に理解させることができる。

２　学習の方法

⑴　予習について

授業ではどんどん当たります。事前に次の時間の範囲を読み、わからない単語の意味を調べ、Forest や Next Stage を使い文法事項を確認し、また疑問点などの確認をしておきましょう。英語の語順で正確に読んでいく訓練をします。

⑵　授業について

本文の内容確認や文法事項について学習します。何となく大意をつかむのではなく、正確に読んでいく訓練です。

⑶　復習について

習った事項を再度確認し、語彙を増やしましょう。習った本文を最低５回音読しましょう。正しい発音で、相手が聞きやすいように読むことが大切です。理由は、授業の中で話します。

〈学習アドバイス〉

これまでの授業ではあまりやっていない精読の練習ですので、始めはとまどうかも知れませんが、精読の訓練をすることで文章を正しく理解する力が身につきます。そのスピードが速くなれば、長文は怖くありません。

３　評価について

⑴　評価の観点

観　点	趣　旨
①関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 主に、アクティビティへの参加・協力や、課題の取り組み、授業で扱われた題材への興味・関心で評価します。
②表現の能力	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。主に、英語を用いて話したり、書いたりする能力で評価します。
③理解の能力	外国語を聞いたり、読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が伝えようとすることを理解する。 主に、英語を聞いたり読んだりして、中身を理解する能力で評価します。
④知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともにその背景にある文化などを理解している。主に、文法や英語の基礎知識が身についているか、授業で扱われた題材についての周辺知識を理解しているかで評価します。

⑵　評価の方法（以下観点①～④は「⑴　評価の観点」と対応する）

評価材料 / 観点	定期考査		授業の発言						
①関心・意欲・態度			○						
②表現の能力	○	本文内容に関する英作文、語句整序問題							
③理解の能力	○	要約・読解問題							
④知識・理解	○	本文内容に関する語彙・文法等に関する問題							

〈担当者からのメッセージ〉

○　テストは、学習した英文の文法に関する問題を出題します。また、初見の問題も出題します。

○　とにかく予習で自分の力で文を読み解くことと、復習で文法事項を確認することを大切にしましょう。

○　授業だけで英語の力がつくという幻想は捨てて下さい。家庭学習が全てです。家で勉強をしないのなら、授業に出ても意味がありません。

４　授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考査等	反省等
4	Two American Geniuses	アメリカの二人の天才、ホイットマンとエジソンについて	①予習をしっかりと行い、自分の力で英文を読もうとしている。 ②受動態、関係代名詞、不定詞、動名詞、分詞、分詞構文、比較、仮定法などを用いた表現をすることができる。 ②修飾関係を正しく捉えながら、正確な文の構造を用いた表現をすることができる。 ③英語の語順に従って、意味のかたまりをとらえながら文章を理解することができる。 ③言い換え表現やディスコース・マーカーをとらえ、論旨の展開するパターンをとらえることができる。 ③知らない単語を、前後の文脈や後の成り立ちから推測することができる。 ③段落の構造を意識し、論旨がどのように展開するかをとらえることができる。 ③文章全体に目を通し、大まかな流れをとらえることができる。 ④内容理解の問いにおいて、自分が探すべき情報を全体の中から素早く検索することができる。 ④受動態、関係代名詞、不定詞、動名詞、分詞、分詞構文、比較、仮定法などを用いた文を理解することができる。 ④修飾関係を正しく捉え、文の構造を把握することができる。		
	What's Your Blood Type?	血液型に関する文化の違いについて			
	The Power of Praise	ほめることが人に及ぼす影響について			
5	Ramen, a Universal Dish	世界共通の料理、ラーメンの歴史と現在について			
	Manga Fascinating People Around the World	日本のマンガが世界で人気である理由について			
	What Fire Has Brought to Human Beings	火の発見によって人類にもたらされたものについて		１学期中間考査	
6	Changes in Diet and Eating Habits	日本の食文化の変化とその影響について			
	Spider Silk	クモの糸の特徴と有効利用について			
7	Human-like Robots	ロボットの発達と未来への展望について			
	Half-truth, the Deceptive Statement	真実を全て言わないことによる情報操作について			
8	The Tulip Bubble in Holland	オランダのチューリップ・バブルについて			
	Immigration of Foreigners to Japan	日本の少子化問題と、移民の受け入れについて			
9				１学期期末考査	
	A Busy Society	時間に追われる社会について			
	The Two Sides of the Human Brain	左脳と右脳の働きの違いについて			
10	The Reliability of the Statistics	不適切な統計の及ぼす影響について			
11	The LOHAS Boom in Japan	日本における LOHAS ブームについて			
	Violence on TV	テレビ番組の暴力シーンとその影響、ＴＶ業界の反応について			
12	The New Era Is Here	ノーベル賞作家パール・バックの若者へのメッセージ			
	English as a Lingua Franca	世界共通言語としての英語と、少数言語の消失の危機			
1	Benefits and Concerns about Xenotransplantation	異種間移植の功罪について			
2					
3					

※　評価の観点①は関心・意欲・態度、②は表現の能力、③は理解の能力、④は知識・理解を表しています。
※　授業計画は進度により前後することがあります。

６回生　選択科目「応用英語」授業のシラバス

教科名	外国語	科目名	応用英語	単位数	２単位
科目の目標	ある程度まとまりのある英語で制限時間内で読んで、概要や要点をとらえる能力を養う。また語法や文法事項の確認や語彙の強化をはかり、英語の表現力を高める。				
教科書		副教材	Rapid-Reading Training センター英語読解トレーニング		

１　学習の目標

(1)　センター試験の第３，４，５，６問に対応した問題演習を行い、時間内に大意をつかみ、解答をする力を養う。
(2)　理解の難しい点については精読を行い、２次試験対策に当てる。

英語運用の４技能の目標

聞くこと	○ある程度の長さで複数の話題が含まれた話を聞いて、主題や重要な情報を理解できる。 ○教科書で扱われた話題について、自分の意見と比較しながら、他人の意見を聞くことができる。
話すこと	○教科書で読んだ話題などについて、理由を交えながら自分の意見を話すことができる。 ○英語で読んだり聞いたりした話題について、自分の意見を提示することができる。
読むこと	○教科書本文について、文章構成や重要な点を意識しながら読むことができる。 ○英語で書かれた文章について、書き手の意図などを理解して、自分の意見と比較しながら、文章を読むことができる。
書くこと	○自分の関心のある話題や身近な話題について、詳しく記述することができる。 ○自分の意見について理由を提示したり、自分が重要だと思う点を相手に理解させることができる。

２　学習の方法

(1)　予習について
　制限時間内に初見の文を読んで解答する訓練をしますので、予習は行いません。

(2)　授業について
　最初に制限時間内に問題を解く演習を行います。その後、附属のワークブックを使って日本語訳や説明を行い、文法の説明を行います。

(3)　復習について
　授業内に確認した文法事項を復習しましょう。説明されたときにわかったつもりになるだけでは文法は身につきません。Next Stage、Forest 問題集を使って文法事項の確認を行って下さい。適宜、文法のプリントも宿題として提出を求めます。

〈学習アドバイス〉
　初めは時間内に読むことは難しいかも知れませんが、自分のスピードが遅いことを実感してもらうためにも目標時間内で読みます。ただし、それで終わりではなく、家庭学習でもういちどしっかりと読まなくてはなりません。速読と精読の両方を行って初めて力がつきます。

３　評価について

(1)　評価の観点

観　点	趣　旨
①関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 主に、アクティビティへの参加・協力や、課題の取り組み、授業で扱われた題材への興味・関心で評価します。
②表現の能力	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。主に、英語を用いて話したり、書いたりする能力で評価します。
③理解の能力	外国語を聞いたり、読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が伝えようとすることを理解する。 主に、英語を聞いたり読んだりして、中身を理解する能力で評価します。
④知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともにその背景にある文化などを理解している。主に、文法や英語の基礎知識が身についているか、授業で扱われた題材についての周辺知識を理解しているかで評価します。

(2)　評価の方法（以下観点①～④は「(1)　評価の観点」と対応する）

評価材料／観点	定期考査		授業の発言						
①関心・意欲・態度			○						
②表現の能力	○	授業で扱った文法に関する語句整序・英作文等							
③理解の能力	○	初見の読解問題							
④知識・理解	○	文法・語法問題等							

〈担当者からのメッセージ〉
○この授業の目標はセンター試験の形式に早くから慣れることです。しかし、センター試験形式の演習だけでは英語の力はつきません。リーディング、ライティングの授業を大切にして、英語の力をつけましょう。
○非常に少人数での開講になりました。授業中は常に当たりますので、必死で頭を働かせましょう。

４　授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考査等	反省等
4	高校標準レベル		①自主的に課題に取り組んでいる		
	センター試験第３問Ａ，Ｂ演習	語句類推、意見要約	②文の主語になる不定詞を使った文を書くことができる ③意見を述べた文の大要を把握し、要約することができる。 ④不定詞名詞的用法を用いた文を理解することができる。		
5					
	第３問C演習	文補充	②ＳＶＯＣ（原形不定詞）、動名詞を用いた文を書くことができる。 ③前後の文脈から、空欄部に入る文を判断することができる。 ④ＳＶＯＣ（原形不定詞、動名詞を用いた文を理解することができる。	１学期中間考査	
6					
	第４問Ａ演習	図表	②間接疑問文、that 節を用いた表現をすることができる。 ③グラフや図表を用いた文を読んで、設問に関する情報を理解することができる。 ④間接疑問文、that 節を用いた文を理解することができる。		
7					
	第４問Ｂ演習	情報検索	②様々な受動態を用いた表現をすることができる。 ③ポスターなどから必要な情報を検索することができる。 ④受動態の様々な形を用いた文を理解することができる。		
8					
				１学期期末考査	
9					
	第５問演習	ビジュアル	②関係代名詞の制限用法、非制限用法を用いた表現をすることができる。 ③文を読み、空間的に理解することができる。 ④関係代名詞の制限用法、非制限用法を用いた文を理解することができる。		
10					
	第６問演習	長文読解	②関係代名詞 what、無生物主語を用いた表現ができる。 ③長文を読んで、必要な情報を検索、要約することができる。 ④関係代名詞 what、無生物主語を用いた文を理解することができる。		
11					
	センター試験過去問題演習				
12					
1					

※　評価の観点①は関心・意欲・態度、②は表現の能力、③は理解の能力、④は知識・理解を表しています。
※　授業計画は進度により前後することがあります。

６回生　選択科目「英会話」授業のシラバス

教科名	外国語	科目名	英会話	単位数	２単位
科目の目標	日常生活でやり取りされる会話や高度な内容の英語を聞いたりして内容を理解する能力を養う。また、英語を使って相手に自分の意志を伝える能力を養う。				
教科書		副教材	自主教材		

1　学習の目標

(1)　既習の学習事項を活用して、相手の意見や考えを英語で聞いて理解する

(2)　英語を読んだり、聞いたりしてその内容に関して自分の考えや意見を英語で表現する。

英語運用の４技能の目標

聞くこと	○ある程度の長さで複数の話題が含まれた話や会話を聞いて、主題や詳細情報を理解できる。 ○日本で放送されているラジオやテレビの英語のニュースを聞いて、どのような内容か大筋を理解できる。
話すこと	○本や映画など、馴染みのある話題について、英語で会話を発展させることができる。 ○教科書の中で取り上げられる社会問題などに関する意見を英語で表現し、質問にも英語で答えることができる。
読むこと	○教科書本文の重要な点を意識しながら、書き手の意図などを理解して、自分の意見と比較しながら文章を読むことができる。 ○日本の国内でニュースとして取り上げられている内容について書かれている英語を読んで理解できる。
書くこと	○自分の意見や感想を論理的に整理し、複数の段落で書くことができる。 ○効果的な事例を取り入れながら、既習の文法事項を用いて、読み手を意識しつつ、自分の考え・意見・提案などを書くことができる。

2　学習の方法

(1)　予習について

英会話にはイントネーションや発音等に注意することが大切です。既習の教科書等の英文を利用して音読することを勧めます。

(2)　授業について

自分の興味のあることや最近の出来事について、自分の考えや意見を英語で発表することがあります。また特定の場面を設定して、その時に役立つ表現を学習します。少し高度な内容に関する意見も求められる場合がありますので、新聞やニュース等を見て背景知識を養うとよいと思います。

(3)　復習について

英語で発表した内容や授業中に学習して会話表現を繰り返し確認して学習内容の定着をはかるようにするとよいと思います。

〈学習アドバイス〉

英会話でも既習の学習事項が大切になります。他の英語の授業でも英会話に役立つものがたくさんあります。英会話だけの授業というよりも、今まで学習したことやこれから学習することを利用して英語を話したり聞いたりしてほしいと思います。

3　評価について

(1)　評価の観点

観　点	趣　旨
①関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 主に、アクティビティへの参加・協力や、課題の取り組み、授業で扱われた題材への興味・関心で評価します。
②表現の能力	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。主に、英語を用いて話したり、書いたりする能力で評価します。
③理解の能力	外国語を聞いたり、読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が伝えようとすることを理解する。 主に、英語を聞いたり読んだりして、中身を理解する能力で評価します。
④知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともにその背景にある文化などを理解している。主に、文法や英語の基礎知識が身についているか、授業で扱われた題材についての周辺知識を理解しているかで評価します。

(2)　評価の方法（以下観点①～④は「(1)　評価の観点」と対応する）

評価材料／観点	定期考査・休業明けテスト		問題集	アクティビティ	発表	リスニングテスト			
①関心・意欲・態度	○	授業で使用したプリントやアクティビティの関する問題	○	○	○				
②表現の能力	○	自由英作文	○		○				
③理解の能力	○	リスニング・リーディング	○			○			
④知識・理解	○	語法・語彙問題等	○						

〈担当者からのメッセージ〉

○ALT の方と授業を行います。積極的に英語で話したりする姿勢を心がけてください。

○日常生活のある場面を設定した会話を学習するので、役に立つ英語表現を覚えてください。また、ニュースに登場するような英語も登場しまので少し高度な英会話にも取り組んでみましょう。

○日本と外国の文化や考えの違いなとを理解して、自己の視野を広げてほしいと思います。

４　授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考査等	反省等
4	Introduction Plan for Golden Week	これからの予定や行動に関する英語を聞いたり話したりする練習をします。 ・未来形	①積極的に相手に自分の行動を伝えることができる ②分がこれから行うことを英語で表現できる。	プリント提出	
5	how to....	自分の好きな趣味やスポーツなどをどのように行うのかを相手に説明する練習をします。 ・疑問詞＋to 不定詞	②相手に自分の趣味などをどうやって行うのかを説明できる。 ③相手の説明を聞いてその内容が理解できる。 ④疑問詞＋to 不定詞の使い方を理解している。	英問英答	
6	News　articles	最近取り上げられているニュースを簡単な英語で読みその内容に関しての英問英答を行います	③英文の内容を理解できる ③英問英答に適切に答えることができる。	１学期中間考査	
	At restaurant	レストランでの会話で必要な表現を学びます。	①積極的にペアワークに参加している ②会話の内容を理解できる。 ④許可や依頼をする時の表現を理解している。		
7					
8	debate about news articles subjects	新聞の記事を読みその内容について英語で発表したり意見を書いたりします。	①積極的に発表している。 ②自分の意見を英語で話すことができる。 ④表前の英語を既習の文法事項を使用して的確に表現できる。	プリント提出 英問英答	
9	Appointment	約束をする時に役立つ表現や欧米での約束のマナーなどを学びます。	①積極的にペアワークに参加している。 ②会話の内容を理解している。 ④提案・謝罪などをする時の表現を理解している。	プリント提出 １学期期末考査	
10	Expressing　yourself with using If I were....	仮定法を使って自分の立場や状況を伝える練習をします。	②自分の考えを英語で発表できる ④仮定法を理解している。		
11	Book review	自分の好きな本を一冊英語で紹介してその本の良さを説明します。 ・助動詞	②自分の考えを英語で発表できる ③相手の説明を聞いてその内容を理解できる ④助動詞の使い方を理解している。		
12	comparisons (taste testing)	類似したものが英語で説明されるので、その説明から判断して最もふさわしいものを選ぶゲーム感覚のアクティビティを行います。 ・比較構文	①アクティビティに積極的に参加している。 ③説明を聞いて適切に問題に答えることができる。 ④比較構文を理解している。	２学期中間考査	
1	practice for entrance exam	大学入試に向けた面接試験やリスニングの問題を中心に学習します。	②ある話題について英語で自分の考えを表現できる。 ③英語を聞いてその内容を理解することができる。		

※　評価の観点①は関心・意欲・態度、④は知識・理解を表しています。
※　授業計画は進度により前後することがあります。

５回生　「基礎中国語」授業のシラバス

教科名	外国語	科目名	基礎中国語	単位数	２単位
科目の目標	○ことばと文化を学ぶことを通して、学習者の人間的成長を促し、21 世紀に生きる力を育てる。 ○中国語と日本語の言語の仕組み、文化事象がわかるようにする。 ○中国語を用いて身近な事柄について運用でき、文化事象について比較したり分析できるようにする。 ○中国語を用いて他者とコミュニケーションをとり、多様な文化背景を持つ人とつながることができるようにする。				
教科書	高校生からの中国語（白帝社）	副教材	高校生からの中国語（白帝社）		

1　学習の目標

⑴　中国語の文字・音声・語彙・表現について知り、その仕組みを理解しよう。

⑵　中国語を使って身近な事柄や関心のある事柄について、自分の気持ちや考え、情報を伝えたり、相手の気持ちや考え、情報を理解したり相手とやりとりできるようになりましょう。

⑶　中国語を使って積極的かつ主体的に他者と対話しましょう。

⑷　複数の文化事象を比較して、知識・情報を活用しながら、共通性や相違生を分析できるようにしましょう。

中国語運用の４技能の目標

聞くこと	○中国語の簡単な指示を理解できる。 ○1 文でやりとりされる定型的な質問を理解できる。
話すこと	○中国語で簡単な挨拶の言葉を交わすことができる。 ○自分のことについて、簡単に中国語で紹介することができる。
読むこと	○簡単に書かれた中国語を理解できる。 ○簡単な中国語の指示を理解できる。
書くこと	○自分が話す簡単な中国語をいくつか書くことができる。 ○中国語で簡単な自己紹介を書くことができる。

2　学習の方法

⑴　予習について

○　新しい課に入る前に、学習事項に目を通しておきましょう。

○　新出単語の意味や発音を覚え、教科書の本文を事前に音読しましょう。

○　本文を読んでどのようなことが書かれているか、考えましょう。

⑵　授業について

○　授業では、タスクを行います。積極的に参加しましょう。

○　タスクは、聞く、話す、書く、読む、全ての感覚を使って行います。

○　可能な限り中国語を母語とする人と交流する機会を設ける予定なので、その際は積極的に参加しましょう。

⑶　復習について

○　授業の復習を行い、付属 CD などのリスニングなど毎日継続して取り組みましょう。

〈学習アドバイス〉
中国語は、実際に使わなければ身に付きません。読む、聞く、話す、書くのすべての感覚を積極的に使うことが大切です。授業中はもちろんですが、予習や復習でもただ眺めているだけではなく、聞く、発音する、書くことを繰り返すことで、中国語を使いこなせるようになってきます。

3　評価について

⑴　評価の観点

観　点	趣　旨
①関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 主に、タスクへの参加・協力や、課題の取り組み、授業で扱われた題材への興味・関心で評価します。
②表現の能力	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。主に、中国語を用いて話したり、書いたりする能力で評価します。
③理解の能力	外国語を聞いたり、読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が伝えようとすることを理解する。主に、中国語を聞いたり読んだりして、中身を理解する能力で評価します。
④知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともにその背景にある文化などを理解している。主に、文法や中国語の基礎知識が身についているか、授業で扱われた題材についての周辺知識を理解しているかで評価します。

（2）　評価の方法（以下観点①～⑤は「（1）　評価の観点」と対応する）

評価材料 観点	定期考査	小テスト	発言発表	レポート	ノート	ワークシート	ペアワーク	グループワーク
①関心・意欲・態度		○	○	○	○	○	○	○
②表現の能力			◎			○	○	○
③理解の能力	○			◎		○	○	○
④知識・理解	○	○	○			○		

（3）　評価の方法（以下観点①～④は「（1）　評価の観点」と対応する）

〈担当者からのメッセージ〉

○　学習の状況を自分で評価する「自己評価」、学習者同士が評価しあう「学習者間評価」、グループ内で評価しあう「グループ評価」などを実施しますので、より主体的に授業に参加することが大切です。

○　学校外で付属の CD を使ったりコール教室の中国語の教材になるものを使って、沢山中国語にふれることが大切です。

４　授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考査等	反省等
4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	第１課　私は高橋美恵です（４） 第２課　私は希望高校の生徒です（４） 第３課　私は東京に住んでいます（４） 第４課　私は６時半に起きます（４） 第５課　私は絵を描くのが好きです（４） 第6課　自己紹介（４） 総復習（４） 第７課　どこで会いますか（４） 第８課　希望高校へどう行きますか（４） 第9課　いくらですか（４） 第１０課　どこに行きましたか（４） 第１１課　中国に行きたいです（４） 第１２課　中国の友だちへの手紙（４） こんな時どう言う１２０の表現（５） 慣用表現　挨拶・感謝・お詫びたずねるとき、うまくいえないとき （４） 慣用表現 どうぞ～してください　～しないでください 分かりません・承知しました（５） 慣用表現　頼みごとをするとき、許可を求めるとき　急いでもらいたいとき（４）	○自分の名前を紹介する表現を理解することができる。○学校を紹介する表現を理解することができる。 ○自分の住んでいる場所を紹介する表現を理解することができる。 ○一日の生活を紹介するための表現を理解することができる。○中国語の文法の基礎を理解することができる。 ○自分の趣味や好きなことを紹介するための表現を理解することができる。○自己紹介するための表現を理解することができる。○これまで学んだ知識を生かして、自分の身近なことについて表現することができる。○中国語の発音や文法について、日本語と比較しながら体系的に理解することができる。 ○場所を尋ねるための表現を理解することができる。 ○目的地までの行き方を尋ねるための表現を理解することができる。○買い物するための表現を理解することができる。 ○行動や感想を表す表現を理解することができる。○計画や希望を伝えるための表現を理解することができる。○手紙を書くための表現を理解することができる。 ○これまで学んだ知識を生かして、自分の身近なことについて表現することができる。○これまで学んだ知識を生かして、自分の身近なことについて表現することができる。○これまで学んだ知識を生かして、自分の身近なことについて表現することができる。○中国語の発音や文法について、日本語と比較しながら体系的に理解することができる。 ＊登別温泉などに出向いてボランティアガイドを体験するなど実際に学んだ中国語を使って中国人と交流する機会を設けたい。	○自分の名前について、伝えたい情報を正確に伝えることができている。○正しい発音ができている。 ○学校のことについて、情報を正確に伝えることができている。○正しい発音ができている。 ○自分の住んでいる場所について、伝えたい情報を正確に伝えることができている。○正しい発音ができている。 ○一日の生活について、伝えたい情報を正確に伝えることができている。 ○自分の趣味について、伝えたい情報を正確に伝えることができている。 ○自己紹介の際に伝えたい情報を正確に伝えることができている。 ○自分の身近なことについて、伝えたい情報を正確に伝えることができている。○正しい発音ができている。 ○場所について、伝えたい情報を正確に伝えることができている。 ○正しい発音ができている。 ○目的地に関する、情報を正確に伝　えることができている。○正しい発音ができている。 ○買い物の際、伝えたい情報を正確に伝えることができている。○正しい発音ができている。 ○行動や感想を表す表現について、伝えたい情報を正確に伝えることができている。 ○計画や希望について、伝えたい情報を正確に伝えることができている。 ○手紙を書く際に、伝えたい情報を　正確に伝えることができている。 ○自分の身近なことについて、伝えたい情報を正確に伝えることができている。○正しい発音ができている。 ○身近なことについて、伝えたい情報を正確に伝えることができている。 ○身近なことについて、伝えたい情報を正確に伝えることができている。 ○身近なことについて、伝えたい情報を正確に伝えることができている。	夏季休業課題 １学期期末考査 冬季休業課題 ２学期期末考査	

※　評価の観点①は関心・意欲・態度、②表現の能力　③理解の能力④④知識・理解を表しています。
※　授業計画は進度により前後することがあります。